

2026

SYLLABUS

[シラバス]

1

中学1年生

CONTENTS

※本冊子中の「TW」は「TopwiN」を表します。

学習の流れ

- | | | | |
|----|-----------|----|----------|
| 02 | 6年間の学習の流れ | 04 | 年間スケジュール |
|----|-----------|----|----------|

科目別シラバス

- | | | | | | |
|----|---------------------------------|----|-----------------------|----|-----------|
| 08 | 英語科カリキュラム | 18 | 数学科カリキュラム | 32 | 国語科カリキュラム |
| 10 | 英語TW Booster α ・ β | 20 | 数学TW Booster α | 34 | 国語TW |
| 14 | 英語TW | 22 | 数学TW Booster β | | |
| 16 | 英語S | 24 | 数学TW α | | |
| | | 26 | 数学TW β | | |
| | | 28 | 数学S α | | |
| | | 30 | 数学S β | | |
| 36 | 受講にあたってのご案内 | | | | |

早稲田アカデミー大学受験部

学習の流れ

- ・ 6年間の学習の流れ
- ・ 年間スケジュール

【6年間の学習の流れ】

(導入:初習 演習:問題演習を交えながら再度学習 入試実戦:過去問演習) ★…一通りの学習が終わるタ

科目	クラス	中1			中2			中3			高1			
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2		
英語	TWB→TW・T	All English4技能総合 (英検®準2級レベル)			All English4技能総合 (英検®2級～準1級レベル)			高校英文法・4技能導入 (英検®2級～準1級レベル)			★ 高校文法・4技能演習			
	TW→TW・T	中学文法導入 (英検®3級～準2級レベル)				中学文法発展演習 (英検®準2級～2級レベル)								
	S→SK <small>※高3のみ Rを開講</small>	中学文法導入 (英検®4級～3級レベル)				中学文法演習 (英検®3級～準2級レベル)		高校基礎文法・4技能導入 (英検®準2級～2級レベル)			高校文法・4技能導入			
数学	TWBα→TW	中学内容導入			IA導入		II導入					IIIC導入		
	TWBβ→TW						BC導入		★	IAB演習				
	TWα	中学内容導入			IA導入		II導入					IIIC導入		
	TWβ <small>※高3のみ γを開講</small>						BC導入		★					IIIABC演習
	Sα	中学内容導入			中学内容演習		IA導入	II導入					SKγへ	
	Sβ													
	Tα											IA導入	II導入	
	Tβ												IIBC導入	
	SKα											IA導入	II導入	
	SKβ													
	SKγ											IIBC導入		
	Rα													
	Rβ													
国語	TW	国語教養導入(古文文法・漢文句法導入)					★ 現代思想導入・古文漢文演習					読解演習(現古漢)		
	T											古文文法・漢文句法導入		
	SK <small>※高3のみ Rを開講</small>											大学入試国語導入(古典文法導入)		
物理	TW													
	SK													
化学	TW													
	SK													
生物	TW													
世界史	TW													
	SK													
日本史	TW													
	SK													
地理	TW													

				高2			高3		
3				1	2	3	1	2	3
				入試実戦					
★ 高校文法・4技能演習							入試実戦		
★ III C演習							III C入試実戦		
III ABC入試実戦							III ABC入試実戦		
★ III C演習							III C入試実戦		
III ABC入試実戦							III ABC入試実戦		
★ III 導入	★ III 演習			C 導入	★ III C 入試実戦				
★ III ABC 演習							III ABC 入試実戦		
II BC 導入				★ III C 導入		★ III C 演習		III C 入試実戦	
							III ABC 入試実戦		
★ III ABC 演習							→ TW/T/SK いずれかのβへ		
							III C 導入		★ III C 入試実戦
							III ABC 演習		III ABC 入試実戦
				入試実戦					
★ 読解演習(古漢)	読解演習(現古漢)						入試実戦(TWへ合流)		
★ 読解演習(現古漢)							入試実戦		
力学導入		熱力学導入/波動導入	電磁気学導入	★ 全分野演習		入試実戦			
力学導入		熱力学導入/波動導入	電気導入	★ 全分野導入・演習		入試実戦			
理論化学導入		無機化学導入	有機化学導入	★ 全分野演習		入試実戦			
理論化学導入		無機化学導入	有機化学導入	★ 全分野導入・演習		入試実戦			
生物基礎導入		生物導入		★ 全分野演習		入試実戦			
導入(全時代)				★ 導入(全時代)		★ 演習			
導入(原始～江戸時代=前近代まで)						★ 導入(全時代・テーマ史)		★ 演習	
導入(全範囲)				★ 導入(全範囲)		★ 演習			

年間スケジュール[中1～中3] ★…クラス選抜試験

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
中1		春期講習会		オリエンテーション 保護者会① 定期試験対策	個別面談① 定期試験対策	東大への英語・数学・国語 夏期講習会 オリエンテーション TWクラス選抜試験(後期) 必修テスト① ★
中2	必修テスト① オリエンテーション 春期講習会			オリエンテーション 保護者会① 定期試験対策	個別面談① 定期試験対策	東大への英語・数学・国語 夏期講習会 オリエンテーション TWクラス選抜試験(後期) 必修テスト② ★
中3	オリエンテーション 春期講習会			定期試験対策 保護者会① オリエンテーション 必修テスト①	個別面談① 定期試験対策	東大への英語・数学・国語 夏期講習会 オリエンテーション TWクラス選抜試験(後期) ★

※イベントの時期・名称は変更になる場合があります。

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必修テスト②	定期試験対策 保護者会② オリエンテーション	個別面談② 定期試験対策	TWクラス選抜試験(前期) ★ オリエンテーション 冬期講習会	必修テスト③ 新年度説明会	個別面談③	定期試験対策
必修テスト③	定期試験対策 保護者会② オリエンテーション	個別面談② 定期試験対策	TWクラス選抜試験(前期) ★ オリエンテーション 冬期講習会	必修テスト④ 新年度説明会	個別面談③	定期試験対策
必修テスト②	定期試験対策 保護者会② オリエンテーション	必修テスト③ 定期試験対策 個別面談②	TWクラス選抜試験(前期) ★ オリエンテーション 冬期講習会	東大への数学 新年度説明会	個別面談③	必修テスト④ 定期試験対策

科目別シラバス

- ・ 英語
- ・ 数学
- ・ 国語

英語科カリキュラム

中学1年～高校3年

英語科指導方針

TW Boosterクラス 授業の進め方

TW Boosterクラスでは、「バイリンガル講師によるオールイングリッシュ授業」と、各校舎の洋書ライブラリーを利用した「多読」を通じて、日本語を介することなく英語を英語のまま理解し、英語で発信する「ネイティブライク・シンキング」を体得することを狙っています。

- 「バイリンガル講師」だからできること
自然な英語の体得を指導する講師は、バイリンガル講師こそ最適であると私たちは考えています。日本語と英語の発音・発声の仕方の違いを教え、あるいは英語固有の言語感覚を指導するには、日英両語の運用に長けていることが必要だからです。
- 多読による言語情報の習得と洋書ライブラリアン
本講座では洋書の読書を課します。各校舎に設置された多読ライブラリーにはライブラリアン＝洋書司書がおり、生徒一人ひとりに最適な本を提案します。
- 英語を「体得する」ということ
TW Boosterクラスでは、身体的理解を通じて、英語を文字通り「体得」することを目指します。学校で内職が必要なほどの量の家庭学習を出すことは無論ありませんが、それでも決して少なくはありません。皆さんがしっかり課題に向き合えるよう、家庭学習の取り組みも全力で支えます。

TW・Sクラス 授業の進め方

TW・Sクラスでは、①健全な学習習慣 ②無理のない課題量と先取りを柱に、英語力の根幹たる「語彙力」「文法力」を、音声情報と文字情報の双方を介した活動で身につけます。

- 地に足をつけて盤石の基盤をつくる
週1回90分の授業を通じ、1年半で中学文法全範囲を一通り学習します。学校の文法学習の先取りをしますが、これは特別早いカリキュラムではありません。中学文法は、文字通りその後の英語学習の基盤となりますので、TW・Sクラスではいたづらに速さを追求することなく、盤石な基盤固めに重点を置きます。
- 文字と音を介した英語表現を学ぶ
授業は語彙の学習に加え、①テキストを使用した文法学習と文字による英語表現、②例文集を使用した重要例文の学習と音声による英語表現を学習します。文法学習では、文法ルールの丸暗記に留まることなく、そのルールを正しく運用し、正しい表現を記述する訓練をします。音声学習では、テキスト「重要例文集」に収録されている「生きた音声」で「生きた英文」を体得します。

【6年間の流れ】

	TW Booster	TW・S
中1	オールイングリッシュの授業で、中学文法を一通り使える形にし、1年間で英検®準2級レベル(およそ2000語程度)の語彙力を身につけます。また、授業でリスニングやスピーキングの力を鍛え、さらには毎週のライティング課題を課し、英語運用を日常化します。読書は1年間で総計45～60万語に触れます。	中学英文法の2/3を一通り使える形にし、1年間で英検®3級レベル(1200語程度)の語彙力を身につけます。確かな理解はもちろんのこと、文字と音声を介した反復訓練によって、英語運用の基盤を整えることを目標とします。
中2	中1に引き続き、オールイングリッシュの授業でより高度な英語運用能力を身につけます。レベルの高い会話や講義なども聴きとれるようになり、英検®2級はもちろんのこと、準1級にも相当する力をつけていきます。読書量は中1からの2年間で120～160万語に届きます。	中1に引き続き、中学英文法の総仕上げをします。夏休みで中学文法の学習を一通り終了後、秋以降は2回目の学習に突入し、特に文構造に影響を与える文法内容にフォーカスします。
	TW	S
中3	高校文法の体系学習に入り、より高度な英文表現を学びます。2年間で培った英語の「身体的感覚的理解」による英文の構造、規則(＝英文法)の知識を日本語によって言語化していきます。これまで読み、書き、聴いて話してきた英文を、文法という媒体を経て有機的に結びつけていきます。	高校文法の体系学習に入り、より高度な英文表現を学びます。2年間で整えた英語の基盤をもとに、いよいよ本格的な英語の運用を学んでいきます。
	TW・T	SK
高1	語彙や語法といった知識の学習、高校文法の体系学習を1年間で終えます。合わせて、これまで培ってきた基礎語学力を基に、高度な英文の読解と作文による発信を本格的に学んでいきます。	高校文法の体系学習に突入し、中学までの内容を凌駕する高度な表現を学んでいきます。無味乾燥な暗記のみに頼らない、本質的な勉強を進めていきます。
高2	東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く英語力をつけます。英作文はもちろん、東大固有の設問形式に纏わる記述答案作成の力をつけるべく、実際の入試問題の演習を多く積みます。秋の東大模試で合格点に届く力をつけていきます。	語彙や文法といった知識の基盤をかため、本格的に読解や作文といった演習に力を入れ、解答能力の向上を目指します。大学入学共通テストレベルの英語問題にも対応できる力をつけていきます。
高3	各クラスが目標とする最難関大学の入試問題を演習形式で対策していきます。合格点に到達することは無論のこと、英語の得点で他科目を補うアドバンテージを生み出せるまで力をつけていきます。TWクラスでは記述答案作成力を更に洗練すべく、添削指導を実施いたします。	

※英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。このコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

【ノート】

TW・Sクラスでは、授業に参加するにあたり、以下の2種類のノートをご用意ください。なお、TW Boosterクラスではワークブックを使用するため、ノートは不要です。

① 授業内講義演習ノート

テキストへの解答の書き込みは授業内外を問わず禁止です。講師の板書だけでなく、口頭で説明した内容も含め、学んだことを貪欲に書き込んでください。鉛筆やシャープペンシルに加え、赤と青のペンをご用意ください。

② 宿題演習ノート

宿題の演習は別冊でノートを作成していただき、授業内で担当講師が回収・チェックを行います。演習問題の解答だけを書き込むのではなく、間違えた問題の「問題文」「解答」「正解の根拠」をまとめましょう。単語の書き取りの練習もこのノートに行ってください。

【音声教材】

英語の音声学習用の教材には以下のものがあります。

- ①【英語TW Booster】Vocabulary List用音源
単語、定義、例文を音声化した教材です。早稲田アカデミーOnlineからアクセス可能です。
- ②【英語TW Booster】英検®リスニング対策音源
リスニング対策の音源です。早稲田アカデミーOnlineからアクセス可能です。
- ③【英語TW Booster】Reading Explorer Foundations音源
本文を音声化した教材です。https://eltngl.com/sites/reading-explorer/homeから視聴可能です。
- ④【英語TW Booster】Reading Explorer Foundation解説動画
講師による長文の解説動画です。早稲田アカデミーOnlineに掲載されています。③の音声と合わせ、授業前に視聴しましょう。
- ⑤【英語TW Booster】英検®対策解説動画
ご自宅で実施していただく英検®過去問の解説動画です。演習後に解説動画を視聴してください。早稲田アカデミーOnlineからアクセス可能です。
- ⑥【英語TW・S】例文集用音源
重要例文を音声化した教材です。早稲田アカデミーOnlineからアクセス可能です。
- ⑦【英語TW・S】英単語ターゲット1800用音源
スマートフォン、タブレットに対応した音声学習用アプリです。旺文社のHP (https://www.obunsha.co.jp) よりインストール可能です。

【TW BoosterからTWへ】

中1〜中2で中学内容の先取りを終了し、話す、聴く=音声を介した学習によって英語を体得する学習から、英文法の体系学習に移行します。これによって、学年に応じて洗練されてきた知性の中でこれまでの学習で体得した点能的知識を論理的有機的に結びつけ、感覚的理解を知識的側面から洗い直し、論理的理解に昇華します。授業の中では日本語を活用し、英文和訳の手法も取り入れていきます。これにより、日本語での和訳・要約、日本語からの英訳といった日英両語の理解を前提とする日本の大学受験の入試問題にも対応できる実戦力を身につけます。

【テスト(中1)】

TWクラス選抜	7月、12月に実施します。TWクラスの受講にはこの試験に合格することが必要です。合格者は科目ごとに得点によって選出されますので、単科での受講も可能です。合格点の目安は60点です。またこの試験を当日3科目受験し、優秀な成績を収めた方は「特待生」の資格が得られます。											
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
必修テスト	7月、9月、1月の年3回、中高一貫校生向けのマーク模試を受験します。単元学習を離れた実力テストで普段の学習がどの程度定着しているかを判断することができます。											
	実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
英検®	TW Boosterクラスの受講者には英検®を積極的に受験してもらいます。中学1年生終了時に英検®準2級取得を目指し、中学2年生終了時に英検®2級〜準1級取得を目指します。											
	実施月	6月 第1回1次	7月 第1回2次	10月 第2回1次	11月 第2回2次	1月 第3回1次	2月 第3回2次					
月例テスト	所定月の1回目授業において実施する、前月内容のまとめテストです。このテストで基準点を超過し続けられているかが、英語力の伸びを測るうえで一つの目安になります。合格点は80点が目安です。											
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
Vocabulary Test (TW Booster) 単語テスト(TW・S)	語彙力を測定するテストです。TW Boosterクラスは毎週、TW・Sクラスは各月の2回目と3回目の授業で実施します。英語力の基盤の勉強ですので、毎日時間を取りましょう。TW Boosterクラスは70点、TW・Sクラスは90点以上が合格点です。											
	Grammar Test (TW Booster) 文法&重要例文確認テスト(TW・S)	文法事項、英文表現の定着を測定するテストです。TW BoosterクラスはVocabulary Testと合わせて毎週、TW・Sクラスは各月の2回目と3回目の授業で実施します。翌授業までに複数日、演習する時間を確保しましょう。TW Boosterクラスは70点、TW・Sクラスは80点以上が合格点です。										

中1英語TW Booster α ・ β 選抜

中高一貫

通常授業(1回)

講習会(1回)

180分
(2講座分)

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学、
またはハーバード大・M.I.Tなどの海外難関大学への進学を目指す生徒。
※受講にはTW Boosterクラス選抜試験への合格が必要です

■ 授業内容

1. 「Fast Phonics」
2. 「Vocabulary List」
3. Grammar:
「Rhythm Grammar, Grammar Success 3,
Extra Grammar」
4. 「Reading Explorer Foundations」
5. 確認テスト
6. 月例テスト
7. 英検®過去問解説
8. 「Interview Practice」
9. 多読

■ 提出物 提出方法

☆対面で授業に参加される場合は授業冒頭に以下を提出しましょう。

- 1) Interview Practice(6月②以降)
- 2) Reading Log

☆双方向Web授業(Zoom)で授業に参加される場合は授業当日22:00までに以下を「EAST」で提出しましょう。

- 1) Interview Practice(6月②以降)
- 2) Reading Log
- 3) 月例テスト(該当回のみ)

※以下は提出不要です。

- 1) 確認テスト(各自丸付けをし、テストの点数を休憩時間等に講師に伝えましょう)

☆授業外で実施する「英検®対策」の解答用紙は全生徒、EASTでご提出ください。

1. 「Fast Phonics」

音と文字を結び付けるためのルールを学ぶための教材です。主にご家庭で進めていただきます。

【宿題の進め方】 (1日10分、毎日)

- 1) Step1で紹介されるルールの音声を聞き、最低10回は大きな声に出して練習しましょう。スマートフォンのカメラアプリを起動し各ユニットのQRコードをかざすと各音声トラックを聴取することができます。パソコンをご使用の場合は下のリンクからもお入りいただけます。 <https://www.compasspub.com/fastphonics>
- 2) 絵を隠し、文字だけで発音ができるように練習しましょう。音読のスピードについては、Step1に登場する単語(12個程度)が8秒以内に読めるようになることが目標です。
- 3) 授業内で扱ったユニットのアクティビティー(Step6まで)を解き、答えを見ながら各自丸付けをしてください。答えは早稲田アカデミーOnline内の「学習コンテンツ」にあります。
- 4) 4月～7月では春期で扱った範囲を再度復習します。自力で読む力が大事になってきますので、マスターしましょう。7月③の授業では定着度を測るために授業内でチェックします。

2. 「Vocabulary List」 テスト

英英辞典形式で単語を学習します。それぞれ、「単語」「定義」「例文」の構成になっています。「英語でどう説明するのか、実際にどう使われるのか」を学ぶ機会です。したがって、「単語を暗記すればよし、点数が高ければそれでよし」ではなく、イメージ化された英文を自分のものにする気概で取り組んでください。頭に入れるべきは「日本語訳」でなく「定義」「例文」です。復習のために、板書のメモも忘れないようにしましょう。

【宿題の進め方】 (1日30分、毎日)

- 1) 授業後、48時間以内に板書のメモを見ながら講師の説明内容を思い出してみましょう。
- 2) 早稲田アカデミーOnline内の「学習コンテンツ」で読み方を確認し、定義や例文の意味をイメージしながらすらすらと読めるようになるまで音読をしましょう。

3. Grammar:「Rhythm Grammar(RG), Grammar Success 3(GS3), Extra Grammar(EG)」 テスト

英語文法のルールを英語で理解するための教材です。演習問題が多く用意されています。

【宿題の進め方】（1日15分、2日に1回）

- 1) Unitの各Partにある文法説明や例文を、すらすらと読めるようになるまで10回以上音読し、練習しましょう。
- 2) 一通り読めるようになり、レッスンのポイントを確認したらそれぞれのアクティビティーを解いてください。授業内で扱わなかったテキストの範囲を宿題として家で解きましょう。早稲田アカデミーOnline内の「学習コンテンツ」にある答えを見ながら答え合わせをしましょう。次週の授業冒頭で(丸付けまで)実施済みか確認しますので講師に見せてください。

4. 「Reading Explorer Foundations」

自然現象や職種など多岐にわたるトピックに関する長文を読み進めます。

【関連ツール】

・本文の音声ファイル(ダウンロード可能):

<https://eltngl.com/sites/reading-explorer/home> → Student Resources → Foundations → Audio

・講師の長文解説動画:

「早稲田アカデミーOnline → 学習コンテンツ → 大学受験部中1 → TopwiN Booster 中1 → Reading Explorer Foundations」

【宿題の進め方】（1日20分、週に2回）

1) リーディングの回

授業前: 予習として音声を聞いた後音読をし、わからない単語を3~5個Vocabulary Listで調べてきましょう。

その後、講師が解説している動画を見て授業に備えてください。

授業後: 解説を忘れないうちに文章の意味をイメージしながら再度音読しましょう。

2) 読解問題の回

授業前: Reading Comprehensionの問題を解いてから授業に参加しましょう(Reading SkillやVocabulary Practiceも出来れば解いてください)。

授業後: 再度答えがどこに書かれているか確認をしましょう。

5. 確認テスト テスト

月例テストの回を除き、毎回授業冒頭10分で実施します。

100点 = 「Vocabulary & Grammar(RG/GS3/EG)テスト」+「Reading Log(読書記録)提出点」+

「Interview Practice提出点(6月②以降)」 ※配点は回によって異なります。

【テスト範囲】

1) Vocabulary:「Vocabulary List」の例文から出題します。 ※準2級:教材に載っていないオリジナルの例文も出題します。

ワードバンクから単語を選び、自分で綴りを写して書きます(文頭が小文字・スペルミスがある場合は加算されません)。

2) Grammar(RG/GS3/EG):前の週に扱った範囲から出題します。質問をよく読み、答えを記入しましょう。

6. 月例テスト テスト

月例テスト実施月の1回目の授業冒頭で実施します。その際、通常の確認テストはありません。まとめテストの役割を担うため、Vocabularyの例文は全てオリジナルのものが出題されます。今までの授業内容を見直し、定着させるためのテストですのでしっかりと備えて挑みましょう。

【テスト範囲】 ※Vocabulary = Vocabulary List、RG/GS3/EG = Rhythm Grammar, Grammar Success 3, Extra Grammar

5月: Grade 3 Vocabulary #1-100/RG Basic 1-2

6月: Grade 3 Vocabulary #101-200/RG Basic 3, Intermediate 1

7月: Grade 3 Vocabulary #201-320/EG Unit 1-8

10月: Grade Pre2 Vocabulary #1-150/RG Intermediate 2-3

11月: Grade Pre2 Vocabulary #151-300/EG Unit 9-16

12月: Grade Pre2 Vocabulary #301-490/GS 3 Unit 1-4

2月: Grade Pre2 Vocabulary #491-840/GS 3 Unit 5-16

❖ 英語科カリキュラム

7. 英検®過去問解説

中学1年終了時点で「英検®準2級」合格を目指します。本会場で受験する場合、中学1年生の間に受けられる最後のチャンスが1月です(S-CBT除く)。2026年度 英検®本会場 日程については、近付きましたらご案内を配布します。2級までは大学受験部に受験も可能です。詳しくは校舎からご案内します。S-CBTの日程については英検®ホームページをご確認ください。

■ 一次試験対策(第1・2・3回検定 授業外実施) **提出物**

英検本番直前では演習形式の模擬試験に挑戦します。1年間で3回実施します。ご自宅で時間を測って過去問を解き、「早稲田アカデミーOnline」よりアクセスできる「解説映像」で学習するスタイルです。教材や詳しい進め方、解答用紙の提出方法については別途ご案内します。リスニングの音声も、同じく「早稲田アカデミーOnline」からお聴きいただけます。

「早稲田アカデミーOnline → 学習コンテンツ → 大学受験部中1 → TopwiN Booster 中1 → TopwiN Booster中1 英検対策リスニング」

■ 二次試験対策(第2・3回検定)

第2・3回検定の二次試験に向けて、10月(3級)と2月(準2級)に二次対策を授業で実施します。「第1回検定で一次に合格した」「第2・3回検定で一次に合格したが、授業内では受験級の二次試験対策をしていない」「S-CBTの受験日が授業内の二次対策よりも前なので、先に練習したい」など、別途対策をご希望される場合、まずはお通いの校舎にご相談ください。

8. 「Interview Practice」 **提出物**

英検®3級・準2級のライティング(一次試験)、そして二次試験の体裁をとってはいますが、英検®を超えた発信力、表現力の開発を意図しています。毎週1ページずつ範囲指定を書き上げ、2週にまたがって「1st Draft(下書き) → 添削と返却 → 2nd Draft(清書)」の工程で表現力向上を目指します。

【宿題の進め方】(1日20分、週に2回) *6月①から

- 1) 「1st Draft」を提出してください。
- 2) 翌週の授業(その次の週の場合もあります)で添削答案が返却されますので、コメントをよく読み、シラバスに沿って「2nd Draft」を提出してください。
- 3) 「2nd Draft」の添削答案が戻ってきたら再度コメントをよく読み、音読を最低3回はしましょう。口頭でも答えられるようになるのが目標です。

9. 多読(Reading Log) **提出物**

「英語脳」を形成するためには「多読」も大切です。各校舎に設置されている多読ライブラリーからレベルに合った本を借り、英語での読書に取り組みましょう。選書で困ったらライブラリアンに相談し、無理なく読めるものを一緒に見つけましょう。合計6冊まで借りることができます。貸出期限は1週間です(オンラインで受講されている場合はご相談ください)。

【宿題の進め方】(1日15~30分、毎日)

読書を終えたら、Reading Logにその記録を取ってください。Reading Logは毎回授業で回収します。同じ本を繰り返し読んだ場合でも、その都度、記入してください。同じ風景であっても走れば万歩計のカウントが進むように、同じ文章でも違った気付きがあるものです。繰り返した分、どんどん記入していきましょう。また、CDを聞いただけでもカウントしてしまって構いません。良質な英語のインプットを増やしていきましょう。

英検®をベースにしたPhaseの目安です。参考程度にご覧ください。

5級程度:Phase 2~3 4級程度:Phase 4~6 3級程度:Phase 7~9 準2級程度:Phase 10~12 2級以上:Phase 13~

【授業進行例(通常授業)】

春~7月	確認テスト 10分	文法 解説 60分	Vocabulary List 解説 90分	Phonics 20分
夏期	確認テスト 10分	Vocabulary List 解説 90分	Rhythm Grammar, Grammar Success 3 解説 80分	
9月~	確認テスト 10分	文法 解説 40分	Vocabulary List 解説 90分	Reading Explorer 40分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。

【カリキュラム】

月	回	授業内容						宿題(提出)		回	月				
		Fast Phonics	Grammar Textbook	Vocabulary List	Reading Explorer Foundations	英検®対策	テスト	Interview Practice	Grammar Homework						
春期	①	Unit 1-2	Intro	Key words 1	4級	1 - 10	毎週の確認テストは前の週の文法の教材とVocabulary Listの範囲から出題します。月例テストの範囲はP11をご確認ください。				①	春期			
	②	Unit 3-4		Key words 2, 3		11 - 40					②				
	③	Unit 5-6	Rhythm	Unit 1-4		41 - 70					③				
	④	Unit 1-6 Review	Grammar	Unit 5-7		71 - 100					④				
	⑤	Unit 7-8	Basic 1	Unit 8-10	101 - 130	⑤									
	⑥	Unit 9-10		Rhythm	Unit 1, 2, 5	131 - 160					⑥				
	⑦	Unit 11-12	Grammar	Unit 3, 4, 6, 7	3級	1 - 20					⑦				
	⑧	Unit 7-12 Review	Basic 2	Unit 8-10		21 - 50					⑧				
4月	①	×	Rhythm	Unit 8-10	51 - 80	4級英検対策講座(授業外)	5月 月例テスト			①	4月				
	②	Unit 1-2 Review	Grammar	Unit 2-5	81 - 110					②					
	③	Unit 3-4 Review	Basic 3	Unit 6, 7	111 - 140					③					
5月	①	Unit 5 Review	Rhythm	Unit 1, 2	141 - 170	4級英検対策講座(授業外)	5月 月例テスト			①	5月				
	②	Unit 6 Review	Grammar	Unit 6-9	171 - 200					②					
	③	Unit 7 Review	Interm. 1	Unit 3, 4, 10	201 - 230					③					
6月	①	Unit 8 Review	Extra	Unit 1, 2	231 - 260	4級英検対策講座(授業外)	6月 月例テスト	3級 IP書き方の説明		①	6月				
	②	Unit 9 Review	Grammar	Unit 3, 4, 5	261 - 290					2022-1A Draft 1		Unit 1, 2	②		
	③	Unit 10 Review	1	Unit 6, 7, 8	291 - 320					2022-1B Draft 1		Unit 3, 4, 5	③		
7月	①	Unit 11 Review	Rhythm	Unit 2, 3, 4	準2級	1 - 30	7月 月例テスト			①	7月				
	②	Unit 12 Review		Unit 1, 5, 6, 7						31 - 60		2022-1A Draft 2	Unit 6, 7, 8	①	
	③	Phonics Test	Interm. 2	Unit 8-10						61 - 90		2022-1B Draft 2	Unit 2, 3, 4	②	
夏期	①		Rhythm	Review	準2級	1 - 30	7月 月例テスト			①	夏期				
	②			Unit 1, 2						91 - 120		2022-2A Draft 1	Unit 1, 5, 6, 7	③	
	③			Unit 3-5						121 - 150		—	—	②	
	④			Unit 6-8						151 - 180		—	Unit 1, 2	③	
	⑤			Unit 9-10						181 - 210		2022-3A Draft 1	Unit 3-5	④	
	⑥			Review						211 - 240		—	Unit 6-8	⑤	
9月	①	Extra Grammar	2	Unit 9-11	3級英検対策講座(授業外)	扱い方の説明	3級英検対策講座(授業外)			①	9月				
	②			Unit 12						271 - 300		2022-2A Draft 2	—	①	
	③			Unit 13						301 - 330		2022-2B Draft 2	Unit 9-11	②	
10月	①	Extra Grammar	2	Unit 14	3級英検対策講座(授業外)	扱い方の説明	3級英検対策講座(授業外)	10月 月例テスト		①	10月				
	②			Unit 15						331 - 360		2022-3B Draft 1	Unit 12	③	
	③			Unit 16						361 - 390		2022-3B Draft 1	Unit 12	③	
11月	①	Grammar Success 3	3	Unit 17	準2級 2次試験対策	421 - 455	4A (R)	11月 月例テスト	準2級	①	11月				
	②			Unit 1-2						391 - 420		2022-3B Draft 2	Unit 14	②	
	③			Unit 3-4						—		—	Unit 15	③	
12月	①	Grammar Success 3	3	Unit 5-6	準2級 2次試験対策	456 - 490	4A (Q)	12月 月例テスト	準2級	①	12月				
	②			Unit 7-8						491 - 525		5A (R)	2022-1A Draft 2	Unit 3-4	①
	③			Unit 1-8 Review						526 - 560		5A (Q)	2022-1B Draft 2	Unit 5-6	②
冬期	①	Grammar Success 3	3	Unit 9-10	準2級 2次試験対策	561 - 595	1A (R)			①	冬期				
	②			Unit 11-12						596 - 630		1A (Q)	2022-2A Draft 2	Unit 7-8	③
	③			Unit 13-14						631 - 665		1B (R)	2022-2B Draft 1	—	①
	④			Unit 15-16						666 - 700		1B (Q)	2022-3A Draft 1	Unit 9-10	②
1月	①	Extra Grammar	3	Unit 9-16 Review	準2級 2次試験対策	701 - 735	6A (R)	12月 月例テスト		①	1月				
	②			Unit 18						736 - 770		6A (Q)	—	Unit 11-12	③
	③			Unit 19						771 - 805		7B (R)	—	Unit 13-14	④
2月	①	Extra Grammar	3	Unit 20	準2級 2次試験対策	806 - 840	7B (Q)	2月 月例テスト		①	2月				
	②			Unit 21						841 - 875		8A (R)	2022-3B Draft 2	Unit 18	③
	③			Unit 22						876 - 910		8B (R)	2023-1A Draft 1	Unit 19	①

※(R)はリーディングの回、(Q)は読解の回を表します。

中1英語TW（文法）

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分
春期講習会のみ
90分

対象

東大・京大をはじめとする最難関大学に合格するための、基礎学力習得を目指す生徒。受講には、TWクラス選抜試験で受講資格を得ることが必要です。

講座の目的

この講座では6年後の難関大学合格に必要な英語力の素地をつくるだけでなく、大学入学後、実際に英語をコミュニケーションのツールとして運用することを前提とした指導をしていきます。

初めて本格的に英語を学習する中学1年生のときに、「正しい発音」を身につけ「文法の本質的な理解」をしておくことはとても大切です。英語学習がスペルや書き換えパターンの暗記に陥ることのないよう十分に留意していきます。高校受験に振り回されないという中高一貫生の利点を生かして、中学校の3年間でひと通りの文法事項を網羅することを前提に、1年間で扱う文法単元の選別と、その最適な順序での学習をしていきます。

なお、到達度の目安は、学年末の段階で英検®3級合格程度の英語力を身につけることです。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中1英語TW/S

問題演習用のテキストです。学校の定期試験や高校入試で問われる問題を収録しています。「試験によく出る問題」というものは実際に存在しますので、そのような問題に慣れておくための教材です。ただし、やや難度の高い問題も含まれますので、問題の取捨選択や優先順位付けは講師が行います。

使用法

予習:不要です。

授業:授業内で扱う文法事項の導入講義を行い、その後テキスト内「練成問題」を中心に演習します。

復習:ノートをしっかり読み直し、下記宿題に記載している通り、問題演習をしっかりと復習してください。ただ問題を解き、答え合わせをしたところで効果はありません。必ず以下の注意を守って復習にあってください。

- ①1日で全ての宿題を終えるのではなく、何日かに分けて実施する
- ②英語も日本語も丁寧に書く
- ③解けない問題が出てきても、必要以上に立ち止まらない
- ④演習中や答え合わせ中に発生した「疑問」は、講師やアシスタスタフに質問して解決する

■ 中1英語TW/S重要例文集(前期・後期)

授業内で取り上げる文法学習内容、単語テストの内容に完全にリンクした重要例文集です。英文を写し、早稲田アカデミーOnline上の音声聴きながら実際に声に出すことで、各文法単元の重要英文を体得します。翌授業内で口頭試問を課します。また文法確認テストにも作文問題として出題をします。

使用法

予習:不要です。

授業:原則授業内では使用しませんが、確認テストの一部はこのテキストから出題されます。

復習:以下の点を守って、正しく効率的に勉強をしてください。

- ①各例文の和訳を右ページに書く
一つひとつの単語の意味を考えながら、なるべく自然な日本語になるよう和訳しましょう。
- ②和訳を見て、英文を書く
今度は英文ではなく、日本語文を見て、英訳してみよう。スペルミス、aやtheのつけ忘れなど、軽微なミスに細心の注意を払ってください。
- ③音声を聴きながら、後に続いて発音する
できる限り細かいニュアンスまでしっかりと真似しよう。普段しゃべるときと同じくらいの声量でしっかりと声を出すことが大切です。
- ④音声を聴きながら、発音された英文を書きとる
最終セッションはディクテーションです。ミスなく、丁寧に、完璧に書きとれるまで何度も訓練しましょう。

■ 英単語ターゲット1800

TW・Sクラス指定の単語帳。長く記憶に残すために、指定範囲から毎日なるべく多くの単語を繰り返し覚えるようにしましょう。単語テスト前日だけの学習にはいけません。また、各単語に付随する諸知識[類義語・反意語・関連語・派生語・発音・アクセント]もしっかりと学習してください。なお、月例テストでも前月のテスト範囲から語い問題を出題します。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 英単語ターゲット1800の指定範囲英単語の練習(1日20分/毎日)

毎週50語程度、指定された範囲の英単語を覚えます。翌週に「日→英」の確認テストを20題出題します。90点合格で、不合格の場合は翌週までの追課題を指示します。

② メインテキストの指定範囲の演習(1日30分/2日に1回)

その週の復習として、「練成問題」「発展問題」の演習を宿題ノートにします。演習後は別冊の解答冊子を使用して丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。翌授業で宿題ノートの回収と確認テストを実施します。③と合わせて、80点合格で、不合格の場合は翌授業までの追課題を指示します。

③ 重要例文集の暗記と口頭練習(1日15分/3日に1回)

毎週5-10個の英文の暗記と口語訓練(発音)をします。②と合わせて、翌週に確認テストを実施します。また、口頭での暗唱テストを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90
諸伝達 5分	単語テスト 5分	例文集 口頭確認 5分	文法・例文 確認テスト 10分
確認テスト 解説 10分		文法理論講義 25分	
		文法演習・解説 25分	
			まとめ・ 宿題伝達 5分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	文法	文法・例文確認テスト	単語テスト
春期	①	I am ～, You are ～の文	-	-
	②	三単現・be動詞の疑問文	I am ～, You are ～の文	-
	③	名詞・代名詞の複数形の文	三単現・be動詞の文	-
	④	発展:まとめ	名詞・代名詞の複数形・be動詞の文	-
4月	①	1 一般動詞(1人称・2人称)	-	-
	②	2 一般動詞(3人称単数)	一般動詞(1人称・2人称)	身の周りの単語①※テキスト内に収録
	③	3 一般動詞(発展問題)	一般動詞(3人称単数)	曜日・月①※テキスト内に収録
5月	①	4 人称代名詞(1)	月例テスト	
	②	5 人称代名詞(2)	人称代名詞(1)	身の周りの単語②※テキスト内に収録
	③	6 形容詞	人称代名詞(2)	学校で使うもの※テキスト内に収録
6月	①	7 命令文	月例テスト	
	②	8 時刻、曜日、日付の表し方	命令文	1-50※以降ターゲット英単語1800を使用
	③	9 疑問詞	時刻、曜日、日付の表し方	51-100
7月	①	10 現在進行形	月例テスト	
	②	11 be動詞の過去形・過去進行形	現在進行形	101-150
	③	12 一般動詞の過去形	be動詞の過去形・過去進行形	151-200
夏期α	①	現在形	-	-
	②	現在進行形	-	-
	③	過去形	-	-
夏期β	①	人称代名詞	-	-
	②	疑問詞	-	-
	③	命令文など	-	-
9月	①	13 助動詞can	-	1-200
	②	14 be going to・will	助動詞can	201-250
	③	15 there be構文	be going to・will	251-300
10月	①	16 助動詞(1)	月例テスト	
	②	17 助動詞(2)	助動詞(1)	301-350
	③	18 形容詞・副詞	助動詞(2)	351-400
11月	①	19 比較(1)	月例テスト	
	②	20 比較(2)	比較(1)	401-450
	③	21 名詞・冠詞	比較(2)	451-500
12月	①	22 付加疑問文・否定疑問文	月例テスト	
	②	23 前置詞(基本)	付加疑問文・否定疑問文	501-550
	③	24 前置詞(発展)	前置詞(基本)	551-600
冬期	①	助動詞	-	-
	②	比較詞	-	-
	③	前置詞	-	-
	④	名詞・冠詞・形容詞・副詞	-	-
1月	①	25 代名詞	-	201-600
	②	26 不定詞(1)	代名詞	601-650
	③	27 不定詞(2)	不定詞(1)	651-700
2月	①	28 感嘆文	月例テスト	
	②	29 文型(1)	感嘆文	701-750
	③	30 文型(2)	文型(1)	751-800

上記カリキュラムのほかにも、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

中1英語S（文法） 中高一貫

対象

早慶上智大をはじめとする難関大学に合格するための、基礎学力習得を目指す生徒。

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分
春期講習会のみ
90分

講座の目的

この講座では6年後の難関大学合格に必要な英語力の素地をつくるだけでなく、大学入学後、実際に英語をコミュニケーションのツールとして運用することを前提とした指導をしていきます。

初めて本格的に英語を学習する中学1年生のときに、「正しい発音」を身につけ「文法の本質的な理解」をしておくことはとても大切です。英語学習がスペルや書き換えパターンの暗記に陥ることのないよう十分に留意していきます。高校受験に振り回されないという中高一貫生の利点を生かして、中学校の3年間でひと通りの文法事項を網羅することを前提に、1年間で扱う文法単元の選別と、その最適順序での学習をしていきます。

なお、到達度の目安は、学年末の段階で英検[®]3級合格程度の英語力を身につけることです。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中1英語TW/S

問題演習用のテキストです。学校の定期試験や高校入試で問われる問題を収録しています。「試験によく出る問題」というものは実際に存在しますので、そのような問題に慣れておくための教材です。ただし、やや難度の高い問題も含まれますので、問題の取捨選択や優先順位付けは講師が行います。

使用法

予習:不要です。

授業:授業内で扱う文法事項の導入講義を行い、その後テキスト内「練成問題」を中心に演習します。

復習:ノートをしっかり読み直し、下記宿題に記載している通り、問題演習をしっかりと復習してください。ただ問題を解き、答え合わせをしたところで効果はありません。必ず以下の注意を守って復習にあってください。

- ①1日で全ての宿題を終えるのではなく、何日かに分けて実施する
- ②英語も日本語も丁寧に書く
- ③解けない問題が出てきても、必要以上に立ち止まらない
- ④演習中や答え合わせ中に発生した「疑問」は、講師やアシスタスタフに質問して解決する

■ 中1英語TW/S重要例文集(前期・後期)

授業内で取り上げる文法学習内容、単語テストの内容に完全にリンクした重要例文集です。英文を写し、早稲田アカデミーOnline上の音声聴きながら実際に声に出すことで、各文法単元の重要英文を体得します。翌授業内で口頭試問を課します。また文法確認テストにも作文問題として出題します。

使用法

予習:不要です。

授業:原則授業内では使用しませんが、確認テストの一部はこのテキストから出題されます。

復習:以下の点を守って、正しく効率的に勉強をしてください。

- ①各例文の和訳を右ページに書く
一つひとつの単語の意味を考えながら、なるべく自然な日本語になるよう和訳しましょう。
- ②和訳を見て、英文を書く
今度では英文ではなく、日本語文を見て、英訳してみよう。スペルミス、aやtheのつけ忘れなど、軽微なミスに細心の注意を払ってください。
- ③音声を聴きながら、後に続いて発音する
できる限り細かいニュアンスまでしっかりと真似しよう。普段しゃべるときと同じくらいの声量でしっかりと声を出すことが大切です。
- ④音声を聴きながら、発音された英文を書きとる
最終セッションはディクテーションです。ミスなく、丁寧に、完璧に書きとれるまで何度も訓練しましょう。

■ 英単語ターゲット1800

TW・Sクラス指定の単語帳。長く記憶に残すために、指定範囲から毎日なるべく多くの単語を繰り返し覚えるようにしましょう。単語テスト前日だけの学習にはいけません。また、各単語に付随する諸知識[類義語・反意語・関連語・派生語・発音・アクセント]もしっかりと学習してください。なお、月例テストでも前月のテスト範囲から語い問題を出題します。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

- ① **英単語ターゲット1800の指定範囲英単語の練習(1日20分/毎日)**
毎週50語程度、指定された範囲の英単語を覚えます。翌週に「日→英」の確認テストを20題出題します。90点合格で、不合格の場合は翌週までの追課題を指示します。
- ② **メインテキストの指定範囲の演習(1日30分/2日に1回)**
その週の復習として、「練成問題」「発展問題」の演習を宿題ノートにします。演習後は別冊の解答冊子を使用して丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。翌授業で宿題ノートの回収と確認テストを実施します。③と合わせて、80点合格で、不合格の場合は翌授業までの追課題を指示します。
- ③ **重要例文集の暗記と口頭練習(1日15分/3日に1回)**
毎週5-10個の英文の暗記と口語訓練(発音)をします。②と合わせて、翌週に確認テストを実施します。また、口頭での暗唱テストを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90
諸伝達 5分	単語テスト 5分	例文集 口頭確認 5分	文法・例文 確認テスト 10分
確認テスト 解説 10分		文法理論講義 25分	
		文法演習・解説 25分	
			まとめ・ 宿題伝達 5分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	文法	文法・例文確認テスト	単語テスト
春期	①	I am ～, You are ～の文	-	-
	②	三単現・be動詞の疑問文	I am ～, You are ～の文	-
	③	名詞・代名詞の複数形の文	三単現・be動詞の文	-
	④	発展:まとめ	名詞・代名詞の複数形・be動詞の文	-
4月	①	1 一般動詞(1人称・2人称)	-	-
	②	2 一般動詞(3人称単数)	一般動詞(1人称・2人称)	身の周りの単語①※テキスト内に収録
	③	3 一般動詞(発展問題)	一般動詞(3人称単数)	曜日・月①※テキスト内に収録
5月	①	4 人称代名詞(1)	月例テスト	
	②	5 人称代名詞(2)	人称代名詞(1)	身の周りの単語②※テキスト内に収録
	③	6 形容詞	人称代名詞(2)	学校で使うもの※テキスト内に収録
6月	①	7 命令文	月例テスト	
	②	8 時刻、曜日、日付の表し方	命令文	1-50※以降ターゲット英単語1800を使用
	③	9 疑問詞	時刻、曜日、日付の表し方	51-100
7月	①	10 現在進行形	月例テスト	
	②	11 be動詞の過去形・過去進行形	現在進行形	101-150
	③	12 一般動詞の過去形	be動詞の過去形・過去進行形	151-200
夏期α	①	現在形	-	-
	②	現在進行形	-	-
	③	過去形	-	-
夏期β	①	人称代名詞	-	-
	②	疑問詞	-	-
	③	命令文など	-	-
9月	①	13 助動詞can	-	1-200
	②	14 be going to・will	助動詞can	201-250
	③	15 there be構文	be going to・will	251-300
10月	①	16 助動詞(1)	月例テスト	
	②	17 助動詞(2)	助動詞(1)	301-350
	③	18 形容詞・副詞	助動詞(2)	351-400
11月	①	19 比較(1)	月例テスト	
	②	20 比較(2)	比較(1)	401-450
	③	21 名詞・冠詞	比較(2)	451-500
12月	①	22 付加疑問文・否定疑問文	月例テスト	
	②	23 前置詞(基本)	付加疑問文・否定疑問文	501-550
	③	24 前置詞(発展)	前置詞(基本)	551-600
冬期	①	助動詞	-	-
	②	比較詞	-	-
	③	前置詞	-	-
	④	名詞・冠詞・形容詞・副詞	-	-
1月	①	25 代名詞	-	201-600
	②	26 不定詞(1)	代名詞	601-650
	③	27 不定詞(2)	不定詞(1)	651-700
2月	①	28 感嘆文	月例テスト	
	②	29 文型(1)	感嘆文	701-750
	③	30 文型(2)	文型(1)	751-800

上記カリキュラムのほかにも、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

数学学科カリキュラム

中学1年～高校3年

数学科指導方針

● 中学数学+数学ⅠAの土台作りから数学ⅡBへ

- ①「中学数学+数学ⅠA」の基本知識と解法習得
- ②①を高校数学の土台として「数学ⅡB」「数学ⅢC」の各単元の知識と解法習得
- ③「入試演習」へと進む

という3段階の枠組みで学習を進めます。「数学ⅠA」は「中学数学を少し発展させた内容」であるため、この「数学ⅠA」までを土台として固める方針により、スムーズかつ自然に高校数学へ移行できます。その上で「数学ⅡB」や「数学ⅢC」の単元学習を進めることにより、ハイスピードであることを保ちながらも丁寧かつ確実に高校数学内容を消化し、「中学数学の学習を終えた後、一気に高校数学で新しい内容や考え方が増えて消化不良になる」ことを極小化できると考えています。

TWクラスでは①を中1中2の2年間・②を中3（数ⅢCは高1）・③を高1～で進め、Sクラスでは①を中1～中3までの3年間・②を高1（数ⅢCは高2）・③を高2～で進めます。

※下表を参照

● 課題・問題内容において「負荷をかける時期」をコントロール

早期に必要な計算力を身につけて高校数学の学習をスムーズかつハイスピードで進めるためには、やはり相応の負荷が必要です。いわゆる「できる子」でも年間130時間程度、やり直しや追加課題が必要な子だと年間200時間程度の課題が必要であると考えています。しかしながらそれを年間通じて一定のペースで消化しようとすると、「困難な時期」が発生します。学校のある通常期と夏休みなどの長期休暇期間に合わせて適切に課題量を調整するのはもちろん、さらに個別に追加課題が必要な状況においても個々の状況に合わせ、本人と一緒に計画を立て、その通りに進んでいるかをチェックします。また、通常期は「基礎・基本を確実にできるようにすること」を優先し、「発展的な問題」は講習会や学年が上がってからの演習時期で復習とともに繰り返し扱うことで、「余裕のある時期」に知識と処理能力の向上を図ります。

【6年間の流れ】

	TW Booster・TW	S
中1	中学数学の代数・幾何からさらにそれを発展させた高校数学ⅠAまでを、この2年間で「高校数学の土台」として完成させます。この後に続く「数学ⅡB」、理系であれば「数学ⅢC」の幅広い知識をスピーディに習得していくため、この時期でその土台となる基本知識と典型処理を習得することに終了します。	中学数学の代数・幾何からさらにそれを発展させた高校数学ⅠAまでを、この3年間で「高校数学の土台」として完成させます。この後に続く「数学ⅡB」、理系であれば「数学ⅢC」の幅広い知識をスピーディに習得していくため、この時期でその土台となる基本知識と典型処理を習得することに終了します。
中2		
中3	一気に知識や考え方・解法の幅が広がる数学ⅡBを1年間かけて確実に固めていきます。文理共通範囲である数学ⅠⅡABCの単元学習はここで完了します。	
高1	高校数学の基本事項を一通り習得していることを前提とし、各分野の応用問題演習を扱いながら、単元横断的な考え方や解法を習得します。また、理系の生徒に関しては数学ⅢCの基本知識をこの1年間で学習します。	一気に知識や考え方・解法の幅が広がる数学ⅡBを1年間かけて確実に固めていきます。文理共通範囲である数学ⅠⅡABCの単元学習はここで完了します。
高2	数学ⅠAⅡB、数学ⅢCともに入試問題を用いての実戦演習を反復し、本番で得点できる解答能力・記述答案作成能力の向上を図ります。	高校数学の基本事項を一通り習得していることを前提とし、各分野の応用問題演習を扱いながら、単元横断的な考え方や解法を習得します。また、理系の生徒に関しては数学ⅢCの基本知識をこの1年間で学習します。
高3		数学ⅠAⅡB、数学ⅢCともに入試問題を用いての実戦演習を反復し、本番で得点できる解答能力・記述答案作成能力の向上を図ります。

【カリキュラム】

		中1			中2			中3			
		〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	
TW Booster	α	中1～中3代数			Ⅰ導入		Ⅱ導入		Ⅱ導入		
	β	中1～中3幾何			A導入		BC導入		BC導入		ⅠA演習
TW	α	中1～中3代数			中3代数		Ⅰ導入		Ⅱ導入		
	β	中1～中3幾何			中3幾何		A導入		B導入		C導入
S	α	中1～中3代数			中3代数		中学代数復習		Ⅰ導入		Ⅱ導入
	β	中1～中3幾何			中3幾何		中学幾何復習		A導入		Ⅱ導入

【ノート】

授業に参加するにあたり、以下の3つのノートをご用意ください。

① 授業ノート

講義内容（理論の説明部分）、授業内での問題演習部分ともに1冊のノートでまとめて構いません。後から見返す際の見やすさを考えて、ノート左ページを講義内容、右ページを左ページの講義内容と対応する演習問題を解くページとすることを推奨しますが、ある程度自分なりに見やすくなるよう工夫していただいて構いません。講師からの特別な指示がない限り、テキストに直接書き込むことはせず、講師からの説明内容はすべてこのノートに記録してください。※最低限、黒・赤・青・緑の4色+適宜蛍光ペン1本あれば問題ありません。

② 宿題用ノート

宿題用のテキストの問題演習のための専用ノートをご用意ください。毎回の授業時に講師が回収し、宿題チェックを行います。問題を解き、赤ペンで答え合わせをすところまで、このノートに実施してください。※間違えた問題のやり直しは③のノートに行います。

③ 間違いまとめノート

自分の間違えた問題とその原因・そして自分で決めた改善策を蓄積するノートです。「授業内で間違えてしまった問題」「宿題で間違えてしまった問題」「テストで間違えてしまった問題」、すべてここに記録しましょう。②のノートとともに、毎回の授業で講師がチェックします。

【宿題の量】

①通常期に関しては、 $\alpha\beta$ 合計平均3時間前後/週 × 通常授業30回 ÷ 年間90時間程度

②長期休暇期間に関しては、GW、夏休み中、冬休み中で合計40時間程度

①+②で年間130時間程度分の課題が課されます。

また、①②において「間違い箇所が多い場合」は必然的に「やり直しや復習にかかる時間」が増えます。

①で $\alpha\beta$ 合計で通常期平均+1時間、講習会平均+2時間の復習時間が増加

②で長期休暇課題が1.5倍程度に増加

すると仮定すると、

1時間 × 通常30回 + 2時間 × 講習会春夏冬合計11回 + 休暇課題20時間 ÷ 70時間程度

となるため、この場合は年間200時間程度必要です。

【テスト(中1)】

TWクラス選抜	3月、7月、12月に実施します。TWクラスの受講にはこの試験に合格する必要があります。合格者は科目ごとに選出されますので、単科での受験も可能です。合格点の目安は60点です。またこの試験を当日3科目受験し、優秀な成績を収めた方は「特待生」の資格が得られます。													
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
必修テスト	7月、9月、1月の年3回、中高一貫校生向けのマーク模試を受験します。単元学習を離れた実力テストで普段の学習がどの程度定着しているかを判断することができます。													
	実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
月例テスト	5月より指定月の初回冒頭20分間でチェックテストを行います。前月学習したテキスト内容から出題されます。目標点数の目安は60点です。													
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
確認テスト	毎月の第2回目、第3回目の授業において実施します。前週に学習した内容の確認テストを行います。テキストの類題が出題されます。目標点数の目安は60点です。													

		高1			高2			高3		
		<1学期>	<2学期>	<3学期>	<1学期>	<2学期>	<3学期>	<1学期>	<2学期>	<3学期>
TW	α	III C導入			III C演習			III C演習		
	β	I II ABC演習			I II ABC演習			I II ABC演習		
SK γ		II BC導入			I II ABC演習					
T	α	I 導入	II 導入	III 導入	III 演習	C 導入	III C演習			
	β	A 導入	BC 導入		I II ABC演習			I II ABC演習		
SK	α	I 導入	II 導入		II 導入	III C導入		III C演習		
	β	A 導入		B 導入	BC 導入	III C導入		I II ABC演習		

中1数学TW Boostera

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分
春期講習会のみ
90分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指しつつ、
ジュニア数学オリンピック対策をしたい生徒。
※受講にはTW Boosterクラス選抜試験への合格が必要です

講座の目的

方程式や関数といった代数分野を学習していきます。中高一貫校の利点を生かし、学習指導要領上の中学校3年間の範囲を中1の1年間で学習できる先取りカリキュラムです。東大などの最難関大学合格に必要とされる記述力や計算力、応用力を身につけていくだけでなく、ジュニア数学オリンピック本選に対応できる思考力も併せて身につけていきます。

中1終了時まで、学校内成績においてトップ10に入る実力を身につけ、ジュニア数学オリンピック本選に出場することを到達度の目安としています。

【教材】※講習会は別テキストです。

■ 中学数学α(授業用①・授業用②・思考問題編)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関校レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返しなが、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず書き直してください。宿題自体が復習となりますので、そのうえでしっかりと宿題に取り組んでください。

■ ジュニア広中杯演習(6月)、ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)

該当時期に対策問題を扱うための教材です。

■ 上位校への数学(アドバンス)

演習授業で使用するテキストです。難関高校入試レベルの演習問題を掲載しており、これを用いてここまで学習した中学数学内容の総合演習を行います。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:「必勝問題」を用いての復習をしたのち、「確認問題」で演習および解説を進めます。

復習:「確認問題」のうち解けなかった問題や講師から指定された問題に関して再度書き直しをしておきましょう。

■ 中学数学α(自宅学習用①・自宅学習用②)

使用法

宿題として自宅で演習するための教材です。以下宿題欄をご参照ください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 中学数学α(自宅学習用①・②)(1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り書き、赤ペンを用いて答え合わせを行います。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。

② 授業テキスト指定問題復習・演習(1週間で30分程度)

授業内で扱った問題の書き直し、および対応する問題の演習指示が講師より指定されます。①と合わせて宿題ノートおよび「間違いまとめノート」に実施してください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし(1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは書き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 15分	演習 10分
		解説 10分	講義 15分
		演習 10分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
春期	①	【中学数学】整数①	春期テキスト	—
	②	【中学数学】整数②	春期テキスト	整数①
	③	【中学数学】整数③	春期テキスト	整数②
	④	【中学数学】整数④	春期テキスト	整数③
4月	①	【中学数学】1.1 正負の数	中学数学α(授業用①)	—
	②	【中学数学】1.2 文字式	中学数学α(授業用①)	1.1 正負の数
	③	【中学数学】2.1 1次方程式	中学数学α(授業用①)	1.2 文字式
5月	①	【中学数学】2.2 連立方程式	中学数学α(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】3.1 1次不等式	中学数学α(授業用①)	2.2 連立方程式
	③	【中学数学】3.2 連立不等式	中学数学α(授業用①)	3.1 1次不等式
6月	①	ジュニア広中杯演習(代数)①	「ジュニア広中杯演習(6月)」テキスト	月例テスト
	②	ジュニア広中杯演習(代数)②	「ジュニア広中杯演習(6月)」テキスト	—
	③	【中学数学】4.1 式の展開	中学数学α(授業用①)	—
7月	①	【中学数学】4.2 因数分解①	中学数学α(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】4.3 因数分解②	中学数学α(授業用①)	4.2 因数分解①
	③	【中学数学】4.4 対称式・交代式	中学数学α(授業用①)	4.3 因数分解②
夏期	①	【中学数学】5.1 有理数・無理数	中学数学α(授業用①)	—
	②	【中学数学】5.2 根号を含む式の計算 [1]	中学数学α(授業用①)	5.1 有理数・無理数
	③	【中学数学】5.2 根号を含む式の計算 [2]	中学数学α(授業用①)	5.2 根号を含む式の計算 [1]
9月	①	【中学数学】6.1 2次方程式の解法	中学数学α(授業用①)	—
	②	【中学数学】6.2 2次方程式の解と応用	中学数学α(授業用①)	6.1 2次方程式の解法
	③	ジュニア数学オリンピック予選演習(組合せ論)①	「ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)」テキスト	6.2 2次方程式の解と応用
10月	①	ジュニア数学オリンピック予選演習(組合せ論)②	「ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)」テキスト	月例テスト
	②	ジュニア数学オリンピック予選演習(組合せ論)③	「ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)」テキスト	—
	③	【中学数学】7.1 関数・座標平面 / 7.2 比例とそのグラフ	中学数学α(授業用②)	—
11月	①	【中学数学】7.3 反比例とそのグラフ	中学数学α(授業用②)	—
	②	【中学数学】7.4 1次関数とそのグラフ	中学数学α(授業用②)	7.3 反比例とそのグラフ
	③	【中学数学】7.5 1次関数の値の変化	中学数学α(授業用②)	7.4 1次関数とそのグラフ
12月	①	【中学数学】7.6 2次関数 $y=ax^2$ とそのグラフ	中学数学α(授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】7.7 2次関数 $y=ax^2$ の値の変化	中学数学α(授業用②)	7.6 2次関数 $y=ax^2$ とそのグラフ
	③	【中学数学】7.8 2次関数 $y=ax^2$ の利用	中学数学α(授業用②)	7.7 2次関数 $y=ax^2$ の値の変化
冬期	①	【中学数学】8.1 順列	中学数学α(授業用②)	—
	②	【中学数学】8.2 組み合わせ	中学数学α(授業用②)	8.1 順列
	③	【中学数学】8.3 確率	中学数学α(授業用②)	8.2 組み合わせ
	④	【中学数学】8.4 確率の応用	中学数学α(授業用②)	8.3 確率
1月	①	【高校入試演習】§5 座標幾何①	上位校への数学(アドバンス)	—
	②	【高校入試演習】§5 座標幾何②	上位校への数学(アドバンス)	§5 座標幾何①
	③	【高校入試演習】§5 座標幾何③	上位校への数学(アドバンス)	§5 座標幾何②
2月	①	【高校入試演習】§7 補充問題①	上位校への数学(アドバンス)	月例テスト
	②	【高校入試演習】§7 補充問題②	上位校への数学(アドバンス)	§7 補充問題①
	③	【高校入試演習】§7 補充問題③	上位校への数学(アドバンス)	§7 補充問題②

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

中1数学TW Booster β

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

講習会(1回)

90分

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指しつつ、
ジュニア数学オリンピック対策をしたい生徒。
※受講にはTW Boosterクラス選抜試験への合格が必要です

講座の目的

幾何分野を学習していきます。中高一貫校の利点を生かし、学習指導要領上の中学校3年間の範囲を中1の1年間で学習できる先取りカリキュラムです。東大などの最難関大学合格に必要なとされる記述力や計算力、応用力を身につけていくだけでなく、ジュニア数学オリンピック本選に対応する思考力も併せて身につけていきます。

中1終了時まで、学校内成績においてトップ10に入る実力を身につけ、ジュニア数学オリンピック本選に出場することを到達度の目安としています。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中学数学 β (授業用①・授業用②・思考問題編)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関校レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返しながら、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず書き直してください。宿題自体が復習となりますので、そのうえでしっかりと宿題に取り組んでください。

■ ジュニア広中杯演習(6月)、ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)、ジュニア数学オリンピック本選演習(冬期)

該当時期に対策問題を扱うための教材です。

■ 上位校への数学(アドバンス)

演習授業で使用するテキストです。難関高校入試レベルの演習問題を掲載しており、これを用いてここまで学習した中学数学内容の総合演習を行います。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:「必勝問題」を用いての復習をしたのち、「確認問題」で演習および解説を進めます。

復習:「確認問題」のうち解けなかった問題や講師から指定された問題に関して再度書き直しをしておきましょう。

■ 中学数学 β (自宅学習用①・自宅学習用②)

使用法

宿題として自宅で演習するための教材です。以下宿題欄をご参照ください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 中学数学 β (自宅学習用①・②) (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り書き、赤ペンを用いて答え合わせを行います。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。

② 授業テキスト指定問題復習・演習 (1週間で30分程度)

授業内で扱った問題の書き直し、および対応する問題の演習指示が講師より指定されます。①と合わせて宿題ノートおよび「間違いまとめノート」に実施してください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に書き直しを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは書き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 15分	演習 10分
		解説 10分	講義 15分
		演習 10分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
春期	①	—	—	—
	②	—	—	—
	③	—	—	—
	④	—	—	—
4月	①	【中学数学】1.1 平面図形の基礎 / 1.2 点の集合	中学数学β(授業用①)	—
	②	【中学数学】2.3 三角形の合同条件	中学数学β(授業用①)	1.1 平面図形の基礎 / 1.2 点の集合
	③	【中学数学】2.4 合同を利用した問題	中学数学β(授業用①)	2.3 三角形の合同条件
5月	①	【中学数学】2.5 二等辺三角形	中学数学β(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】2.6 平行四辺形	中学数学β(授業用①)	2.5 二等辺三角形
	③	【中学数学】2.7 等積変形 / 2.8 三角形の証明演習	中学数学β(授業用①)	2.6 平行四辺形
6月	①	ジュニア広中杯演習(幾何)①	「ジュニア広中杯演習(6月)」テキスト	月例テスト
	②	ジュニア広中杯演習(幾何)②	「ジュニア広中杯演習(6月)」テキスト	—
	③	【中学数学】2.9 四角形の証明演習	中学数学β(授業用①)	—
7月	①	【中学数学】4.1 三角形の相似条件	中学数学β(授業用②)	—
	②	【中学数学】4.2 平行線と線分の比 / 4.3 中点連結定理	中学数学β(授業用②)	4.1 三角形の相似条件
	③	【中学数学】4.4 角の二等分線 / 4.5 チェバ・メネラウスの定理	中学数学β(授業用②)	4.2 平行線と線分の比 / 4.3 中点連結定理
夏期	①	【中学数学】5.1 円の基本性質 / 5.2 円に関する諸定理	中学数学β(授業用②)	—
	②	【中学数学】5.3 方べきの定理	中学数学β(授業用②)	5.1 円の基本性質 / 5.2 円に関する諸定理
	③	【中学数学】5.4 三角形の五心	中学数学β(授業用②)	5.3 方べきの定理
9月	①	【中学数学】6.1 三平方の定理	中学数学β(授業用②)	—
	②	【中学数学】6.2 平面図形への応用	中学数学β(授業用②)	6.1 三平方の定理
	③	ジュニア数学オリンピック予選演習(幾何)①	「ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)」テキスト	6.2 平面図形への応用
10月	①	ジュニア数学オリンピック予選演習(幾何)②	「ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)」テキスト	月例テスト
	②	ジュニア数学オリンピック予選演習(数論)①	「ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)」テキスト	—
	③	ジュニア数学オリンピック予選演習(数論)②	「ジュニア数学オリンピック予選演習(9月・10月)」テキスト	—
11月	①	【中学数学】3.1 空間の図形	中学数学β(授業用①)	—
	②	【中学数学】3.2 立体と切断	中学数学β(授業用①)	3.1 空間の図形
	③	【中学数学】3.3 立体のいろいろな見方	中学数学β(授業用①)	3.2 立体と切断
12月	①	【中学数学】6.4 空間図形への応用	中学数学β(授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】6.5 正多面体	中学数学β(授業用②)	6.4 空間図形への応用
	③	【中学数学】6.3 座標平面への応用	中学数学β(授業用②)	6.5 正多面体
冬期	①	ジュニア数学オリンピック本選演習①	「ジュニア数学オリンピック本選演習(冬期)」テキスト	—
	②	ジュニア数学オリンピック本選演習②	「ジュニア数学オリンピック本選演習(冬期)」テキスト	—
	③	ジュニア数学オリンピック本選演習③	「ジュニア数学オリンピック本選演習(冬期)」テキスト	—
	④	ジュニア数学オリンピック本選演習④	「ジュニア数学オリンピック本選演習(冬期)」テキスト	—
1月	①	【高校入試演習】§3 平面図形①	上位校への数学(アドバンス)	—
	②	【高校入試演習】§3 平面図形②	上位校への数学(アドバンス)	§3 平面図形①
	③	【高校入試演習】§3 平面図形②	上位校への数学(アドバンス)	§3 平面図形②
2月	①	【高校入試演習】§4 空間図形①	上位校への数学(アドバンス)	月例テスト
	②	【高校入試演習】§4 空間図形②	上位校への数学(アドバンス)	§4 空間図形①
	③	【高校入試演習】§4 空間図形③	上位校への数学(アドバンス)	§4 空間図形②

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

❖ 数学科カリキュラム

中1数学TW α

選抜

中高一貫

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
※受講にはTWクラス選抜試験への合格が必要です

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分
春期講習会のみ
90分

講座の目的

方程式や関数といった代数分野を学習していきます。中高一貫校の利点を生かし、学習指導要領上の中3の範囲を1月から学習できる先取りカリキュラムです。東大などの最難関大学合格に必要なとされる記述力や計算力、応用力を身につけていきます。

中1終了時まで、学校内成績においてトップ10に入る実力を身につけることを到達度の目安としています。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中学数学 α (授業用①・授業用②)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関校レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返しなが、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず解き直してください。宿題自体が復習となりますので、そのうえでしっかりと宿題に取り組んでください。

■ 中学数学 α (自宅学習用①・自宅学習用②)

使用法

宿題として自宅で演習するための教材です。以下宿題欄をご参照ください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 中学数学 α (自宅学習用①・②) (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行います。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 授業テキスト指定問題復習・演習 (1週間で30分程度)

授業内で扱った問題の解きなおし、および対応する問題の演習指示が講師より指定されます。①と合わせて宿題ノートおよび「間違いまとめノート」に実施してください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 15分	演習 10分
解説 10分	講義 15分	演習 10分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
春期	①	【中学数学】整数①	春期テキスト	—
	②	【中学数学】整数②	春期テキスト	整数①
	③	【中学数学】整数③	春期テキスト	整数②
	④	【中学数学】整数④	春期テキスト	整数③
4月	①	【中学数学】1.1 正負の数	中学数学α(授業用①)	—
	②	【中学数学】1.2 文字式	中学数学α(授業用①)	1.1 正負の数
	③	【中学数学】2.1 1次方程式①	中学数学α(授業用①)	1.2 文字式
5月	①	【中学数学】2.1 1次方程式②	中学数学α(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】2.2 連立方程式①	中学数学α(授業用①)	2.1 1次方程式②
	③	【中学数学】2.2 連立方程式②	中学数学α(授業用①)	2.2 連立方程式①
6月	①	【中学数学】2.3 方程式の文章題①	中学数学α(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】2.3 方程式の文章題②	中学数学α(授業用①)	2.3 方程式の文章題①
	③	【中学数学】3.1 1次不等式	中学数学α(授業用①)	2.3 方程式の文章題②
7月	①	【中学数学】3.2 連立不等式①	中学数学α(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】3.2 連立不等式②	中学数学α(授業用①)	3.2 連立不等式①
	③	【中学数学】3.3 不等式の文章題	中学数学α(授業用①)	3.2 連立不等式②
夏期	①	【中学数学演習】正負の数・文字式	夏期テキスト	—
	②	【中学数学演習】1次方程式・連立方程式	夏期テキスト	正負の数・文字式
	③	【中学数学演習】1次不等式・連立不等式	夏期テキスト	1次方程式・連立方程式
9月	①	【中学数学】7.1 関数・座標平面 / 7.2 比例とそのグラフ	中学数学α(授業用②)	—
	②	【中学数学】7.3 反比例とそのグラフ	中学数学α(授業用②)	7.1 関数・座標平面 / 7.2 比例とそのグラフ
	③	【中学数学】7.4 1次関数とそのグラフ	中学数学α(授業用②)	7.3 反比例とそのグラフ
10月	①	【中学数学】7.5 1次関数の値の変化 [1]	中学数学α(授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】7.5 1次関数の値の変化 [2]	中学数学α(授業用②)	7.5 1次関数の値の変化 [1]
	③	【中学数学】4.1 展開 [1]	中学数学α(授業用①)	7.5 1次関数の値の変化 [2]
11月	①	【中学数学】4.1 展開 [2]	中学数学α(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】4.2 因数分解 [1]	中学数学α(授業用①)	4.1 展開 [2]
	③	【中学数学】4.2 因数分解 [2]	中学数学α(授業用①)	4.2 因数分解 [1]
12月	①	【中学数学】4.3 対称式	中学数学α(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】5.1 有理数・無理数	中学数学α(授業用①)	4.3 対称式
	③	【中学数学】5.2 根号を含む式の計算	中学数学α(授業用①)	5.1 有理数・無理数
冬期	①	【中学数学演習】1次関数	冬期テキスト	—
	②	【中学数学演習】展開・因数分解	冬期テキスト	1次関数
	③	【中学数学演習】式の計算の応用	冬期テキスト	展開・因数分解
	④	【中学数学演習】平方根	冬期テキスト	式の計算の応用
1月	①	【中学数学】6.1 2次方程式の解法 [1]	中学数学α(授業用①)	—
	②	【中学数学】6.1 2次方程式の解法 [2]	中学数学α(授業用①)	6.1 2次方程式の解法 [1]
	③	【中学数学】6.2 2次方程式の解と応用 [1]	中学数学α(授業用①)	6.1 2次方程式の解法 [2]
2月	①	【中学数学】6.2 2次方程式の解と応用 [2]	中学数学α(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】7.6 2次関数 $y=ax^2$ とそのグラフ	中学数学α(授業用②)	6.2 2次方程式の解と応用 [2]
	③	【中学数学】7.7 2次関数 $y=ax^2$ の値の変化 [1]	中学数学α(授業用②)	7.6 2次関数 $y=ax^2$ とそのグラフ

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

数学学科カリキュラム

中1数学TW β

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
※受講にはTWクラス選抜試験への合格が必要です

講座の目的

幾何分野を学習していきます。中高一貫校の利点を生かし、学習指導要領上の中3の範囲を1月から学習できる先取りカリキュラムです。東大などの最難関大学合格に必要なとされる記述力や計算力、応用力を身につけていきます。

中1終了時まで、学校内成績においてトップ10に入る実力を身につけることを到達度の目安としています。

【教材】

※講習会は別テキストです。

■ 中学数学 β (授業用①・授業用②)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関校レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:テキストおよび授業ノートを見返しながら、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず解き直してください。宿題自体が復習となりますので、そのうえでしっかりと宿題に取り組んでください。

■ 中学数学 β (自宅学習用①・自宅学習用②)

使用法

宿題として自宅で演習するための教材です。以下宿題欄をご参照ください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 中学数学 β (自宅学習用①・②) (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 授業テキスト指定問題復習・演習 (1週間で30分程度)

授業内で扱った問題の解きなおし、および対応する問題の演習指示が講師より指定されます。①と合わせて宿題ノートおよび「間違いまとめノート」に実施してください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 15分	演習 10分
		解説 10分	講義 15分
		演習 10分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
春期	①	—	—	—
	②	—	—	—
	③	—	—	—
	④	—	—	—
4月	①	【中学数学】1.1 平面図形の基礎	中学数学β(授業用①)	—
	②	【中学数学】1.2 点の集合	中学数学β(授業用①)	1.1 平面図形の基礎
	③	【中学数学】1.3 図形の移動	中学数学β(授業用①)	1.2 点の集合
5月	①	【中学数学】2.1 平行線と角	中学数学β(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】2.2 多角形の内角と外角	中学数学β(授業用①)	2.1 平行線と角
	③	【中学数学】2.3 三角形の合同条件	中学数学β(授業用①)	2.2 多角形の内角と外角
6月	①	【中学数学】2.4 合同を利用した問題	中学数学β(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】2.5 二等辺三角形	中学数学β(授業用①)	2.4 合同を利用した問題
	③	【中学数学】2.6 平行四辺形	中学数学β(授業用①)	2.5 二等辺三角形
7月	①	【中学数学】2.7 等積変形	中学数学β(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】2.8 三角形の証明演習	中学数学β(授業用①)	2.7 等積変形
	③	【中学数学】2.9 四角形の証明演習	中学数学β(授業用①)	2.8 三角形の証明演習
夏期	①	【中学数学演習】合同の証明問題演習①	夏期テキスト	—
	②	【中学数学演習】合同の証明問題演習②	夏期テキスト	合同の証明演習①
	③	【中学数学演習】合同の証明問題演習③	夏期テキスト	合同の証明演習②
9月	①	【中学数学】4.1 三角形の相似条件 [1]	中学数学β(授業用②)	—
	②	【中学数学】4.1 三角形の相似条件 [2]	中学数学β(授業用②)	4.1 三角形の相似条件 [1]
	③	【中学数学】4.2 平行線と線分の比	中学数学β(授業用②)	4.1 三角形の相似条件 [2]
10月	①	【中学数学】4.3 中点連結定理	中学数学β(授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】4.4 角の二等分線	中学数学β(授業用②)	4.3 中点連結定理
	③	【中学数学】4.5 チェバ・メネラウスの定理	中学数学β(授業用②)	4.4 角の二等分線
11月	①	【中学数学】5.1 円の基本性質	中学数学β(授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】5.2 円に関する諸定理 [1]	中学数学β(授業用②)	5.1 円の基本性質
	③	【中学数学】5.2 円に関する諸定理 [2]	中学数学β(授業用②)	5.2 円に関する諸定理 [1]
12月	①	【中学数学】5.3 方べきの定理	中学数学β(授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】5.4 三角形の五心 [1]	中学数学β(授業用②)	5.3 方べきの定理
	③	【中学数学】5.4 三角形の五心 [2]	中学数学β(授業用②)	5.4 三角形の五心 [1]
冬期	①	—	—	—
	②	—	—	—
	③	—	—	—
	④	—	—	—
1月	①	【中学数学】3.1 空間の図形	中学数学β(授業用②)	—
	②	【中学数学】3.2 立体と切断	中学数学β(授業用②)	3.1 空間の図形
	③	【中学数学】3.3 立体のいろいろな見方	中学数学β(授業用②)	3.2 立体と切断
2月	①	【中学数学】6.1 三平方の定理 [1]	中学数学β(授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】6.1 三平方の定理 [2]	中学数学β(授業用②)	6.1 三平方の定理 [1]
	③	【中学数学】6.2 平面図形への応用 [1]	中学数学β(授業用②)	6.1 三平方の定理 [2]

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

❖ 数学科カリキュラム

中1数学S α 中高一貫

対象

難関国立大学、早慶上智大をはじめとする難関私立大学に合格するための、基礎学力習得を目指す生徒。

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分
春期講習会のみ
90分

講座の目的

方程式や関数といった代数分野を基礎から導入していきます。中高一貫校の利点を生かし、学習指導要領上の中2の範囲を9月から、中3の範囲を1月から学習できる先取りカリキュラムです。最難関大学合格に必要な学習の質、量から逆算されたカリキュラムです。

中1終了時まで、学校内成績において上位に入る実力を身につけることを到達度の目安としています。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中学数学 α (授業用①・授業用②)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関校レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

宿題:テキストおよび授業ノートを見返しながら、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず解き直してください。宿題自体が復習となりますので、そのうえでしっかりと宿題に取り組んでください。

■ 中学数学 α (自宅学習用①・自宅学習用②)

使用法

宿題として自宅で演習するための教材です。以下宿題欄をご参照ください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 中学数学 α (自宅学習用①・②) (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行います。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 授業テキスト指定問題復習・演習 (1週間で30分程度)

授業内で扱った問題の解きなおし、および対応する問題の演習指示が講師より指定されます。①と合わせて宿題ノートおよび「間違いまとめノート」に実施してください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 15分	演習 10分	解説 10分	講義 15分	演習 10分	解説 10分
---------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
春期	①	【中学数学】正負の数①	春期テキスト	—
	②	【中学数学】正負の数②	春期テキスト	正負の数①
	③	【中学数学】文字式①	春期テキスト	正負の数②
	④	【中学数学】文字式②	春期テキスト	文字式①
4月	①	【中学数学】1.1 正負の数	中学数学α(授業用①)	—
	②	【中学数学】1.2 文字式	中学数学α(授業用①)	1.1 正負の数
	③	【中学数学】2.1 1次方程式①	中学数学α(授業用①)	1.2 文字式
5月	①	【中学数学】2.1 1次方程式②	中学数学α(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】2.2 連立方程式①	中学数学α(授業用①)	2.1 1次方程式②
	③	【中学数学】2.2 連立方程式②	中学数学α(授業用①)	2.2 連立方程式①
6月	①	【中学数学】2.3 方程式の文章題①	中学数学α(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】2.3 方程式の文章題②	中学数学α(授業用①)	2.3 方程式の文章題①
	③	【中学数学】3.1 1次不等式	中学数学α(授業用①)	2.3 方程式の文章題②
7月	①	【中学数学】3.2 連立不等式①	中学数学α(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】3.2 連立不等式②	中学数学α(授業用①)	3.2 連立不等式①
	③	【中学数学】3.3 不等式の文章題	中学数学α(授業用①)	3.2 連立不等式②
夏期	①	【中学数学演習】正負の数・文字式	夏期テキスト	—
	②	【中学数学演習】1次方程式・連立方程式	夏期テキスト	正負の数・文字式
	③	【中学数学演習】1次不等式・連立不等式	夏期テキスト	1次方程式・連立方程式
9月	①	【中学数学】7.1 関数・座標平面	中学数学α(授業用②)	—
	②	【中学数学】7.2 比例とそのグラフ	中学数学α(授業用②)	7.1 関数・座標平面
	③	【中学数学】7.3 反比例とそのグラフ	中学数学α(授業用②)	7.2 比例とそのグラフ
10月	①	【中学数学】7.4 1次関数とそのグラフ	中学数学α(授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】7.5 1次関数の値の変化	中学数学α(授業用②)	7.4 1次関数とそのグラフ
	③	【中学数学】4.1 展開 [1]	中学数学α(授業用①)	7.5 1次関数の値の変化
11月	①	【中学数学】4.1 展開 [2]	中学数学α(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】4.2 因数分解 [1]	中学数学α(授業用①)	4.1 展開 [2]
	③	【中学数学】4.2 因数分解 [2]	中学数学α(授業用①)	4.2 因数分解 [1]
12月	①	【中学数学】4.2 因数分解 [3]	中学数学α(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】4.3 対称式 [1]	中学数学α(授業用①)	4.2 因数分解 [3]
	③	【中学数学】4.3 対称式 [2]	中学数学α(授業用①)	4.3 対称式 [1]
冬期	①	【中学数学演習】1次関数	冬期テキスト	—
	②	【中学数学演習】展開・因数分解	冬期テキスト	1次関数
	③	【中学数学演習】式の計算の応用①	冬期テキスト	展開・因数分解
	④	【中学数学演習】式の計算の応用②	冬期テキスト	式の計算の応用①
1月	①	【中学数学】5.1 有理数・無理数	中学数学α(授業用①)	—
	②	【中学数学】5.2 根号を含む式の計算 [1]	中学数学α(授業用①)	5.1 有理数・無理数
	③	【中学数学】5.2 根号を含む式の計算 [2]	中学数学α(授業用①)	5.2 根号を含む式の計算 [1]
2月	①	【中学数学】6.1 2次方程式の解法 [1]	中学数学α(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】6.1 2次方程式の解法 [2]	中学数学α(授業用①)	6.1 2次方程式の解法 [1]
	③	【中学数学】6.2 2次方程式の解と応用	中学数学α(授業用①)	6.1 2次方程式の解法 [2]

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

中1数学S β 中高一貫

対象

難関国立大学、早慶上智大をはじめとする難関私立大学に合格するための、基礎学力習得を目指す生徒。

通常授業(1回)

90分

講習会(1回)

180分

講座の目的

幾何分野を基礎から導入していきます。中高一貫校の利点を生かし、学習指導要領上の中2の範囲を9月から、中3の範囲を1月から学習できる先取りカリキュラムです。多くの生徒が苦手とする幾何分野を徹底的に定着させていきます。

中1終了時まで、学校内成績において上位に入る実力を身につけることを到達度の目安としています。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中学数学 β (授業用①・授業用②)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関校レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

宿題:テキストおよび授業ノートを見返しながら、まずは授業内で扱った問題が確実に自力で解けることを確認しましょう。授業内で間違えてしまった問題は「間違いまとめノート」に必ず解き直してください。宿題自体が復習となりますので、そのうえでしっかりと宿題に取り組んでください。

■ 「相似・円演習」テキスト

12月②③で使用する演習用テキストです。

■ 中学数学 β (自宅学習用①・自宅学習用②)

使用法

宿題として自宅で演習するための教材です。以下宿題欄をご参照ください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 中学数学 β (自宅学習用①・②) (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行います。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 授業テキスト指定問題復習・演習 (1週間で30分程度)

授業内で扱った問題の解きなおし、および対応する問題の演習指示が講師より指定されます。①と合わせて宿題ノートおよび「間違いまとめノート」に実施してください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 15分	演習 10分
		解説 10分	講義 15分
		演習 10分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
春期	①	—	—	—
	②	—	—	—
	③	—	—	—
	④	—	—	—
4月	①	【中学数学】1.1 平面図形の基礎	中学数学β(授業用①)	—
	②	【中学数学】1.2 点の集合	中学数学β(授業用①)	1.1 平面図形の基礎
	③	【中学数学】1.3 図形の移動	中学数学β(授業用①)	1.2 点の集合
5月	①	【中学数学】2.1 平行線と角	中学数学β(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】2.2 多角形の内角と外角	中学数学β(授業用①)	2.1 平行線と角
	③	【中学数学】2.3 三角形の合同条件	中学数学β(授業用①)	2.2 多角形の内角と外角
6月	①	【中学数学】2.4 合同を利用した問題	中学数学β(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】2.5 二等辺三角形	中学数学β(授業用①)	2.4 合同を利用した問題
	③	【中学数学】2.6 平行四辺形	中学数学β(授業用①)	2.5 二等辺三角形
7月	①	【中学数学】2.7 等積変形	中学数学β(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】2.8 三角形の証明演習	中学数学β(授業用①)	2.7 等積変形
	③	【中学数学】2.9 四角形の証明演習	中学数学β(授業用①)	2.8 三角形の証明演習
夏期	①	【中学数学演習】 合同の証明問題①	夏期テキスト	—
	②	【中学数学演習】 合同の証明問題②	夏期テキスト	合同の証明問題①
	③	【中学数学演習】 合同の証明問題③	夏期テキスト	合同の証明問題②
9月	①	【中学数学】4.1 三角形の相似条件 [1]	中学数学β(授業用②)	—
	②	【中学数学】4.1 三角形の相似条件 [2]	中学数学β(授業用②)	4.1 三角形の相似条件 [1]
	③	【中学数学】4.2 平行線と線分の比	中学数学β(授業用②)	4.1 三角形の相似条件 [2]
10月	①	【中学数学】4.3 中点連結定理	中学数学β(授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】4.4 角の二等分線	中学数学β(授業用②)	4.3 中点連結定理
	③	【中学数学】4.5 チェバ・メネラウスの定理	中学数学β(授業用②)	4.4 角の二等分線
11月	①	【中学数学】5.1 円の基本性質	中学数学β(授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学】5.2 円に関する諸定理 [1]	中学数学β(授業用②)	5.1 円の基本性質
	③	【中学数学】5.2 円に関する諸定理 [2]	中学数学β(授業用②)	5.2 円に関する諸定理 [1]
12月	①	【中学数学】5.3 方べきの定理	中学数学β(授業用②)	月例テスト
	②	【中学数学演習】 相似演習	「相似・円演習」テキスト	5.3 方べきの定理
	③	【中学数学演習】 円演習	「相似・円演習」テキスト	相似演習
冬期	①	—	—	—
	②	—	—	—
	③	—	—	—
	④	—	—	—
1月	①	【中学数学】5.4 三角形の五心 [1]	中学数学β(授業用②)	—
	②	【中学数学】5.4 三角形の五心 [2]	中学数学β(授業用②)	5.4 三角形の五心 [1]
	③	【中学数学】5.4 三角形の五心 [3]	中学数学β(授業用②)	5.4 三角形の五心 [2]
2月	①	【中学数学】3.1 空間の図形	中学数学β(授業用①)	月例テスト
	②	【中学数学】3.2 立体と切断	中学数学β(授業用①)	3.1 空間の図形
	③	【中学数学】3.3 立体のいろいろな見方	中学数学β(授業用①)	3.2 立体と切断

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

国語科カリキュラム

中学1年～高校3年

国語科指導方針

● 中学入試で培った国語力の維持

中学入試の際に必死に学んだ国語。四字熟語や慣用句、漢字の知識はこれからの財産となるものです。しかしながら、昨今、日常生活で漢字を手で書くことの頻度は減りました。中学入試で培った国語力を風化させない、そのために国語の受講をおすすめします。「なあなあ」にせずに「ちゃんと」国語の学習をやり続ける、これがコンセプトです。授業内の制限時間内に問題を解くという習慣を絶やさない、ということが国語力維持に大きく貢献するはずで、英数で新しいことをたくさん学ばなければなりませんので、宿題は多く出します。負担を感じずに受講いただけます。中1から国語を開講している他塾は少ないので、併用も歓迎です。

● 教養の体得

単に大学入試に合格することだけを目指すのではなく、文化資本とも呼ぶべき国語教養を身につけることが目的です。授業内では現代文・古文・漢文の3分野をまんべんなく扱います。国語に関する知識を一段高い所から俯瞰的に学び、文章が書かれる意味・背景・ねらいを自身で理解できるようにします。教養が身につくことで、医学部をはじめとした入試で実施される面接での適切な受け答えや小論文の対策にもなります。

● 視野を広げる

東京大学をはじめとした最難関大学の入試には抽象度の高い文章が出題されます。自らの興味関心のみに焦点化した狭い視野では、入試に出題される文章を理解すること自体が難しく、それを簡潔明瞭に表現するという高いハードルを越えることは不可能です。中3では『寝ながら学べる構造主義』という本を1年間かけてじっくりと読書会のようなかたちで読み、掲載されている思想家についての理解を深めます。マルクス、フロイト、ニーチェなど、構造主義者というよりは20世紀の知性に大きな影響を及ぼした三人についてまずは概観し、ソシュール、フーコー、レヴィ=ストロース、ラカンについて学びます。私たちにとっては自明と思われることも、「ある時代のある時点から採用されている考え方」ということに触れる経験は、皆さんの成長にもつながります。

● 古典の暗唱

古文・漢文では有名作品や和歌の暗唱を通じて、国語表現の身体化を目指します。一見難しく感じられる評論文中特有のことばを背景から、古文単語を語源から、漢文中の漢字を成り立ちから、楽しみながら学びます。「なんとなくわかる」という際の「なんとなく」にぴったり合うことばを与え、他者に伝わることばで表現できるようにします。

● 中2までの2年間で古典文法を学習

中1～2の2年間で古典文法をひと通り学習します。全貌を2年間でつかむことができるのは他塾にはないカリキュラムです。中3までで古典文法を2回学習することになるので、中3までに大学入試に必要な古典文法を習得することが可能です。

【6年間の流れ】

	TW
中1	現代文は「論理トレーニング」を実施し、「何となく読む」状態からの脱却を目指します。論理を考え出し、論点をまとめ上げ、明快地に記述する能力を養います。古文・漢文は有名作品の暗唱を行います。講習会で古文の文法をまとめて扱いますので、講習会を受講していただければ途中合流可能です。
中2	現代文は共通テスト対策を実施します。資料を適切に読み取り、明快地に記述する能力を養います。古文・漢文は有名作品の暗唱を引き続き行います。古文の授業では基本的な単語を語源から解説を行い、語彙力の基礎を築きます。講習会で古典の文法をまとめて扱いますので、講習会を受講していただければ途中合流可能です。中2終了時で古典文法の学習は一通り終了します。
中3	現代文は構造主義の思想を学びます。東大を始めとする最難関大学受験において、有効に働く背景知識を身につけます。古文・漢文は有名作品の暗唱を引き続き行います。中3の1年間で、中1・2で学習した古典文法を総復習し、知識を完成させます。古文に関しては、1年間で1冊の単語帳を覚えきり、共通テストが難なく解ける水準にします。
高1	東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く国語力をつけます。現代文の知識を習得することに主軸を置き、古典の知識を定期的に復習します。
高2・高3	東大をはじめとした最難関大学の入試問題を演習します。添削指導によって、記述答案作成力をさらに洗練させ、総仕上げをします。

【ノート】

早稲アカ用のノートを1冊準備してください。

複数のノートを用意する必要はありませんが、宿題をやるときはどこからどこまでが宿題かわかるように記載してください。テキストへの解答の書き込みは授業内外を問わず禁止です。講師の板書だけでなく、口頭で説明した内容も含め、学んだことを貪欲に書き込んでください。鉛筆やシャープペンシルに加え、赤・青・緑のペンをご用意ください。

【宿題の量】

中1・2のうち、宿題はほぼありません。古文・漢文の音読と暗唱を1週間に30分～1時間程度行ってください。月例テストの前は該当範囲の復習をして臨んでください。

中3では、中1・2に実施した古典の復習に時間を要しますので、毎週2時間程度宿題を課します。毎回の単語テスト準備も宿題とします。

①通常期：授業の復習（平均2時間）・各種テスト準備（平均1時間）／週×通常授業30回≒90時間程度

②長期休暇期間：GW、夏休み、冬休みで合計40時間程度

①+②で年間130時間程度の課題を出します。

また、①②において「間違い箇所が多い場合」は必然的に「やり直しにかかる時間」が増えます。

【読書の習慣化】

宿題はほとんどありませんが、読書習慣をつけるようにしてください。どんな本を読めば良い、という絶対的な基準はありません。自分の興味関心の視野を広げるために、ぜひ本を読んでください。多くの本を読めば、多くの表現に触れ、おのずと語彙や表現が身につきます。このようにして自然と養われた表現力は、記述式の問題で皆さんの得点を押し上げることにつながります。

特に「源氏物語」「枕草子」「徒然草」「方丈記」「三国志」「水滸伝」「史記」など、代表的な古典作品を通読しておくのはおすすめです。原典で読むのは難しいですが、さまざまな現代語訳が出版されています。マンガもありますので、マンガで内容を掴むというのも良い方法です。非常時においては、感情的にならず、広いタイムスパンで目の前の出来事を客観的に観察することが必要です。そういう際に、古典を読むのは良いと思います。「方丈記」は嵐、火事、飢饉、洪水、疫病、遷都……など、京都の町を襲ったありとあらゆる天変地異について書かれたもので、「無常観」とはいかなる思想であるのかということを教えてください。

【テスト(中1)】

TWクラス選抜	3月、7月、12月に実施します。TWクラスの受講にはこの試験に合格することが必要です。合格者は科目ごとに選出されますので、単科での受験も可能です。合格点の目安は60点です。またこの試験を当日3科目受験し、優秀な成績を収めた方は「特待生」の資格が得られます。													
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
必修テスト	7月、9月、1月の年3回、中高一貫校生向けのマーク模試を受験します。単元学習を離れた実力テストで普段の学習がどの程度定着しているかを判断することができます。													
	実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
月例テスト	5月より指定月の初回冒頭20分間でチェックテストを行います。前月学習したテキスト内容から出題されます。合格点は80点が目安です。													
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	

中1国語TW

選抜

中高一貫

対象

東大・国立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
※受講にはTWクラス選抜試験の合格が必要です

通常授業(1回)

90分

講習会

180分
春期講習会のみ
90分

講座の目的

単に大学入試に合格することだけを目指すのではなく、文化資本とも呼ぶべき国語教養を身につけることが本講座の目的です。授業内では現代文・古文・漢文の3分野をまんべんなく扱います。国語に関する知識を一段高い所から俯瞰的に学び、文章が書かれる意味・背景・ねらいを自身で理解できるようにします。古文・漢文では有名作品や和歌の暗唱を通じて、国語表現の身体化を目指します。

「なんとなくわかる」という際の「なんとなく」にぴったり合うことばを与え、他者に伝えることばで表現できるようにします。学年終了時まで、学校内成績においてトップ10に入る力を身につけることを到達度の目安としています。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 中1国語TW(前期・後期)

メインテキストです。現代文は日本語の書かれ方を学ぶための「論理トレーニング」、古文は学校の教科書にも登場するような「有名古文作品の読解」、漢文は訓読法を学びながら「故事成語の語源作品の読解」を授業の中で扱います。

使用法

予習:不要です。

授業:現代文…文章の論理構造を分析する礎となる教養と論理を身につけることを目的とします。解説・説明の際に講師が行う板書は、ノートに写してください。

古文…歴史的仮名遣いの基礎から学びます。基本事項を学校での学習よりも早期に学べるので、学校の定期試験においてアドバンテージを得ることができます。また、文法は講習会で集中的に扱うカリキュラムとしていまして、学校との両立を無理なく行うことができます。

漢文…基本句法から丁寧に取り上げて解説を行います。古文同様基本事項を学校での学習よりも早期に学べるので、学校の定期試験においてアドバンテージを得ることができます。

■ てならない帖

古文文法を繰り返し書いて覚えるための練習帖です。古文文法は現代国文法の基礎となるものですが、現代語よりも用言は特に種類が多く複雑です。助動詞学習のためにも、まずは用言の活用を身体に沁み込ませるべく、何度も書いてみましょう。

【宿題】

現代文の回:月例テストのやり直しが宿題です。やり直したノートを講師がチェックします。(1週間に30分程度)

古文の回:授業で扱った古文の暗唱が宿題です。暗唱ページを繰り返し声に出して読んでください。授業内で確認の時間を取りますので、あてられたら発表できる水準にしてください。(1週間に30分程度)

漢文の回:授業で扱った漢文を白文で読めるように、何度も書いてみてください。授業内で取り上げた例文の暗記も併せて行ってください。月例テストに出題します。(1週間に30分程度)

月例テストに向けた復習:月例テストは古文・漢文から出題されます。上記で課された宿題を中心に復習をしてテストに臨んでください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90
宿題確認 5分	解説 5分	諸伝達 5分	導入 20分
		演習 20分	解説 35分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	確認テスト
春期	①	【現代文】現代口語文法	現代口語文法のまとめ	—
	②	【現代文】論理トレーニング入門	論理トレーニング導入	—
	③	【古文】物語読解①	『竹取物語』①	—
	④	【古文】物語読解②	『竹取物語』②	—
4月	①	【現代文】論理トレーニング①	言い換え・説明	—
	②	【古文】有名古文作品研究①	『竹取物語』③	—
	③	【漢文】故事成語研究①	『矛盾』	—
5月	①	【現代文】論理トレーニング②	因果・順接	月例テスト
	②	【古文】有名古文作品研究②	『枕草子』	—
	③	【漢文】故事成語研究②	『守株』	—
6月	①	【現代文】論理トレーニング③	添加・累加・並列	月例テスト
	②	【古文】有名古文作品研究③	『伊勢物語』	—
	③	【漢文】故事成語研究③	『蛇足』	—
7月	①	【現代文】論理トレーニング④	逆接・譲歩	月例テスト
	②	【古文】有名古文作品研究④	『大鏡』	—
	③	【漢文】故事成語研究④	『五十歩百歩』	—
夏期	①	【古文】用言	行・活用の種類・活用形	—
	②	【古文】助動詞	推量系・尊敬系の助動詞	—
	③	【古文】百人一首の鑑賞	1番～30番	—
9月	①	【現代文】論理トレーニング⑤	指示	夏期課題確認(古文暗唱)
	②	【古文】有名古文作品研究⑤	『源氏物語』①	—
	③	【漢文】故事成語研究⑤	『朝三暮四』	—
10月	①	【現代文】論理トレーニング⑥	文の種類	月例テスト
	②	【古文】有名古文作品研究⑥	『源氏物語』②	—
	③	【漢文】故事成語研究⑥	『推敲』	—
11月	①	【現代文】論理トレーニング⑦	段落の役割	月例テスト
	②	【古文】有名古文作品研究⑦	『平家物語』①	—
	③	【漢文】故事成語研究⑦	『塞翁が馬』	—
12月	①	【現代文】論理トレーニング⑧	文章の展開	月例テスト
	②	【古文】有名古文作品研究⑧	『平家物語』②	—
	③	【漢文】故事成語研究⑧	『虎の威を借る』	—
冬期	①	【古文】用言の復習	用言の活用など	—
	②	【古文】助動詞①	推量系の助動詞	—
	③	【古文】助動詞②	尊敬系の助動詞など	—
	④	【古文】百人一首の鑑賞	31番～60番	—
1月	①	【現代文】論理トレーニング⑨	根拠の発見	冬期課題確認(用言)
	②	【古文】有名古文作品研究⑨	『方丈記』	—
	③	【漢文】故事成語研究⑨	『論語』	—
2月	①	【現代文】論理トレーニング⑩	結論の種類	月例テスト
	②	【古文】有名古文作品研究⑩	『徒然草』	—
	③	【漢文】故事成語研究⑩	漢詩	—

※上記カリキュラムの他にも、確認テストを行う場合があります。 ※個人別の課題を設定する場合があります。

【受講にあたってのご案内】

クラス分け

選抜クラス(TWクラス・Tクラス)に関しては、中1～高1生は「TW/Tクラス選抜試験」、高2生は「東大水準模試」および理科TWクラス選抜試験、高3生は「東大必勝模試」および理社TWクラス選抜試験の結果により受講資格が与えられます。これらの試験は7月と12月に実施され、それぞれ後期(9月～翌年2月)と前期(翌年3月～8月)のクラスを確定します(※)。

SKクラス(1組・2組)・Rクラス(高3のみ)に関しては、必修テストの結果に応じてクラス分けを行います。2月・6月のテストで後期(9月～翌年2月)、9月・11月の必修テストで前期(翌年3月～8月)のクラスを確定します。

※高3「東大必勝模試」は6月・9月の実施です。

月例テスト

解答用紙を実施前月の月末発送物で送付します。対面参加生は送付されたものを月例テスト実施日に持参してください。問題用紙につきましては、対面参加生は授業の際に直接配布、Zoom参加生は早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に公開された問題を見てテストを行います。

いずれの学年も、Zoom参加生は解答用紙を「早稲田アカデミーEAST」アプリを使用して、テスト当日の22時までに提出してください。また、実施後には早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に解答を公開しますので、復習にご活用ください。

採点後の答えは、対面参加生には授業で直接返却し、Zoom参加生は「早稲田アカデミーEAST」での返却および月末(※)の発送物にて送付します。

※「早稲田アカデミーEAST」アプリで提出された答案に関しては、翌月末の発送物での送付となるケースがあります。ご了承ください。

確認テスト

対面参加生は授業の際に直接配布、Zoom参加生は画面共有でテストを行います。

翌月上旬には早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に問題・解答を公開しますので、復習にご活用ください。

早稲田アカデミーEAST(アプリ)

月例テストの解答用紙や英語TW Boosterクラスの課題の提出に使用するアプリです。「早稲田アカデミーEAST」のアプリをダウンロードし、ホームページに掲載されている「スタートアップガイド」に従って解答用紙などの提出を行ってください。

早稲田アカデミーOnline(アプリ)

早稲田アカデミーが提供するさまざまなICTサービスを利用するための、オリジナルポータルサービスです。授業スケジュールの確認、遅刻や欠席の連絡、「双方向Web授業」や「学習コンテンツ」へのアクセスができるほか、各種お申し込みや請求支払い状況の照会などの機能を搭載しています。「お知らせ」には、時間割や保護者会のご案内など、重要なお知らせを配信します。

アプリのインストールおよびアカウント作成についての詳細は、ご入塾の際に配布している案内をご確認ください。

振替制度

同じクラス名の授業を他校舎にて振替出席することが可能です。事前に所属校舎までお申し出ください。校舎によって授業実施曜日が異なりますので、早稲田アカデミーOnlineに掲載されている年間カレンダーにて授業スケジュールをご確認いただき、授業回数が異なってしまわないようご注意ください。

教材の購入方法

テキスト使用予定約1か月前から早稲田アカデミーOnlineにてテキストが購入できるようになります。

購入が必要な時期(※)に「教材のご案内」を配布いたします。購入に必要な各教材の「教材コード」などが記載されておりますので、そちらを参照してご購入いただけます。

また、受講していない講座や、他学年の物などを含め時期が異なる教材の購入も可能です。購入をお考えの教材内容に関しては校舎までお問い合わせください。

※テキストの切り替わる時期に関しては各科目のカリキュラムのページをご確認ください。

サクセスタイムズ(毎月のお知らせ)

毎月の営業日時・休講日・模試・イベント等のご案内は、早稲田アカデミーOnlineに「サクセスタイムズ」を掲載させていただきますのでご確認ください。

ご不明点などございましたら所属校舎までお問い合わせください。

配布物ファイル

お知らせ等の配布物は授業時にクリアファイルに入れて配付いたします。授業中に配付しますので、中身を受け取り後、ファイルを授業担当講師へ返却してください。

授業がZoomでの参加のみ等の理由で直接お渡しできていない方に関しては、当月末の発送物にて送付します。

事務受付時間

通常営業日 平日・土曜 13:00～19:30

講習会期間 9:00～19:00

※日曜日の営業日時や受付時間変更などに関しては、毎月早稲田アカデミーOnlineに掲載される「サクセスタイムズ」をご参照ください。

自習室の利用

通常営業日 平日・土曜 13:00～21:30

講習会期間 8:30～20:00

※利用時間や利用可能日を変更させていただく場合がございます。変更がある場合は、早稲田アカデミーOnlineにてご案内いたします。

SYLLABUS 2026

[中学1年生コース]

 **早稲田アカデミー 大学受験部**